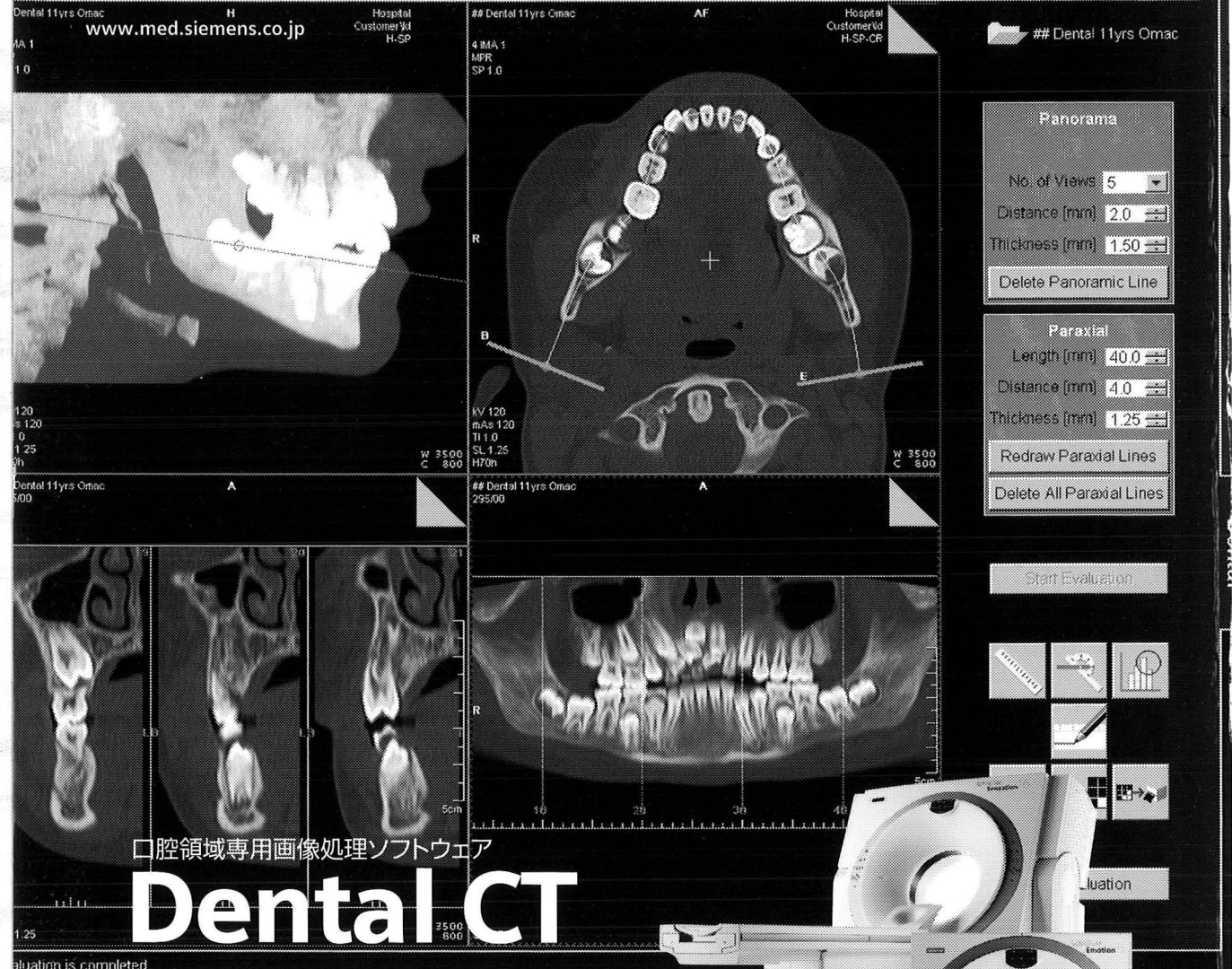


全国歯科大学・歯学部附属病院 診療放射線技師連絡協議会会誌

THE JAPANESE MEETING
OF
RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS
IN
DENTAL COLLEGE AND UNIVERSITY DENTAL HOSPITAL

[会告]			
[巻頭言]	……………日本大学	丸橋 一夫	1
[長崎紹介]			
長崎を見てさるこう!!	……………長崎大学	山田 敏明	2
[総会および研修会]	……………		4
[教育講演Ⅰ要旨]	……………長崎大学	黒川不二雄	6
[教育講演Ⅱ要旨]	……………宮崎鶴田記念クリニック	神田 重信	7
[フリー討論Ⅰ要旨]			
CBCTの現状と今後の展開	……………(株)日立製作所 中央研究所	馬場 理香	8
歯科用X線CT装置“3DX”の臨床評価	……………日本大学	丸橋 一夫	9
「CB MercuRayの使用経験」	……………昭和大学	舟橋 逸雄	10
「PSR9000N」朝日レントゲン	……………鶴見大学	三島 章	11
[フリー討論Ⅱ要旨]			
「小児歯科医から見た患者さんの心理」	……………長崎大学	久保田一見	12
<接遇について>	……………北海道医療大学	輪嶋 隆博	13
放射線科のトラブルと対処	……………日本大学松戸	松崎 伸一	14
接遇について	……………九州大学病院	吉田 豊	15
[会員消息]			
協議会の皆様お元気ですか	……………	宇津見博基	16
[寄稿]			
全歯放技連の思いで	……………鹿児島大学	岡田 淳徳	18
定年退職にあたり	……………新潟大学	伊藤 宰	19
[会員原稿]			
PACSへのアプローチ	……………徳島大学	坂野 啓一	20
[施設紹介]			
長崎大学	……………長崎大学	北森 秀希	22
[新人紹介]			
初めまして	……………福岡歯科大学	島津 奈緒	28
[事業報告]	……………		29
[収支決算書]	……………		31
[監査報告]	……………		33
[規約]	……………		34
[幹事会報告]	……………		35
[編集後記]	……………		38



口腔領域専用画像処理ソフトウェア

Dental CT

● スパイラルスキャンデータから上顎と下顎の
 パノラマビューとパラアキシャルビューを作成するDental CTソフトウェア。
 インタラクティブな位置決めと併せて、幅広い評価パラメータ設定が可能です。
 作成されたパノラマビューとパラアキシャルビューは手軽に実寸でフィルミングが行えます。
 インプラント計画、顎骨構造に関する情報、下顎管の位置特定などに
 ご利用いただけます。

SOMATOM Sensation & SOMATOM Emotion

Dental CT ソフトウェアは、SOMATOM Sensation family 及びSOMATOM Emotion familyでご利用いただけます。

Siemens Medical Solutions that help

シーメンス旭メディテック株式会社
 141-8644 東京都品川区東五反田3-20-14 高輪パークタワー

SIEMENS
 medical

〔会 告〕

全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会 第16回総会および歯科放射線技術研修会開催のお知らせ

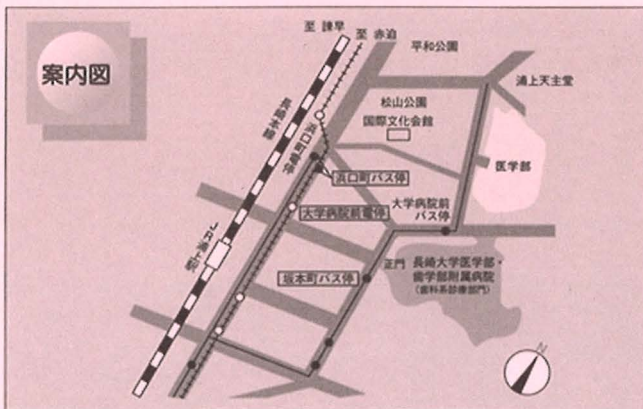
本会規約第6条に基づき、下記のとおり全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会第16回総会および歯科放射線技術研修会を開催致します。奮ってご参加下さるようご案内申し上げます。

全国歯放技連絡協議会

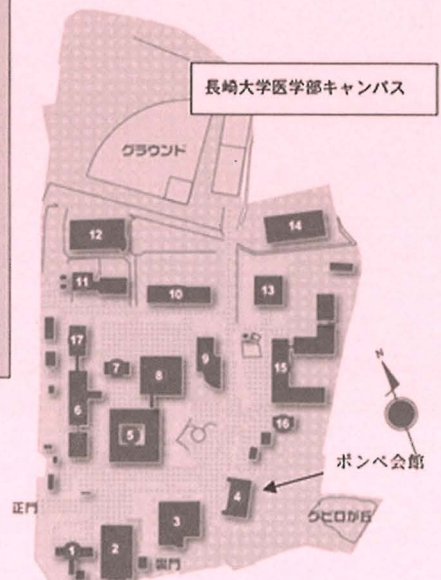
会長 角田 明

記

- 開催日時 平成17年7月2日(土)～3日(日)
- 主催校 長崎大学
- 会 場 長崎大学医学部 (<http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/med/>)
ポンペ会館 (<http://www2.ocn.ne.jp/~oine/pompe/>)
〒852-8523 長崎県長崎市坂本1丁目12番4号 Tel. 095-845-8274
- 教育講演1
「ロボットの視覚認知能力は人を越えられるか?」
長崎大学工学部電気電子工学科 黒川不二雄 先生
- 教育講演2
「歯科放射線学の温故知新と道標」
NPO 法人日本歯科放射線学会理事長 神田 重信 先生
- フリー討論教育講演
【1】「コンビームCT」について
「コンビームCTについて」
日立製作所中央研究所 馬場 理香 先生
【2】いままたなぜ「接遇」か?
「小児歯科医の立場からみた患者さんの心理」
長崎大学医学部・歯学部附属病院子供の歯治療室 久保田一見 先生
- 交通機関



- 飛行機利用 長崎空港から長崎行きバスに乗り長崎駅下車 (所要時間40分ほど)
路面電車で赤迫行きに乗り岩川町大学病院前または浜口町下車 (100円) 徒歩8分
- J R 利用 浦上駅下車
路面電車で赤迫行きに乗り岩川町大学病院前または浜口町下車 (100円) 徒歩8分



[巻頭言]

What we can do

日本大学
丸橋 一夫

昨年暮れのスマトラ沖大地震（M9.0、一説によると M9.4）に続き、3月にも震源地から百数十キロしか離れていないところで M8.7の大地震が発生したことは記憶に新しいところです。しかし、それだけでは終わらず、4月にスマトラ島のタラン火山が爆発しました。狭い範囲でこれだけ立て続けに大災害が起こり、日本でも新潟に続き福岡で大地震が起こっています。私達が今までに経験したことのない大規模な地殻変動が起こりつつあるのでしょうか？

さて、自然界から医療現場に目を向けてみますと、連日のように医療事故のニュースがTVや新聞で報道されています。

「重大医療事故半年で533件（死亡83件）」

これは、先日、新聞の一面トップに載っていた記事ですが、たった半年間の重大事故の多さに驚いたものです。しかしさらに驚いたことに、それは、登録病院（533病院）から報告された事故件数だけだということです。特に、高度な専門医療を担う特定機能病院は63病院で、343件もありました。この件数、余りにも多いと感じたのは私だけでしょうか。

事故の程度別では、死亡が83件、障害が残る可能性が高い場合が74件、低い場合が254件。残りの122件は不明であり、事故の発生場所は、「病室」241件、「手術室」77件の順であったそうです。

歯科病院では、重篤な患者さんが少ないこともあり、直接、死亡に繋がる事故は少ないと思われませんが、医療過誤という落とし穴は、常に口を開けて待ちかまえていることを、肝に銘じておかなければなりません。

それでは、どのようにしたら医療過誤を少なくすることが出来るか？

そのために“What we can do –私達に出来ること–”は？

まず、一人一人の意識改革が重要です。そのために、関連した講演を聴いたり、書物などから知識を吸収することや同僚らと話し合うことも必要でしょう。そして、何より必要だと思われるのがヒヤリハット事例の報告と検討です。全ての病院で制度としては確立していると思われませんが、すでに制度として確立していても、それを実行していなければ他だの絵に描いた餅にしか過ぎません。それを実のあるものにすることが“What we can do”です。

また、この4月から施行されました“個人情報保護法”も、情報だけが一人歩きして現場の対応が間に合わない施設もある（多い？）のではないかと思います。

7月に長崎大学で行われる「全国歯放技連絡協議会総会・研修会」でお会いした時に、我々の直面しているこれらの諸問題を多くの会員の方と話し合いたいと思います。そのためにも、多くの会員の参加をお願い致します。

[長崎紹介]



長崎を見てさるこう!!

長崎大学
山田 敏明

観光地長崎では、今までに様々なイベントが行われてきました。1990年長崎旅博覧会これはパビリオンが立って盛大でした。1996年炎の博覧会、佐賀との共同開催でしたが、焼き物をメインにした博覧会でした。2000年長崎阿蘭陀年、オランダとの友好400周年を記念したイベントが、1年間行われました。そして2006年長崎さるく博が催されます。この博覧会は、日本初のまち歩き博覧会で、今までの博覧会とは大きく趣が違います。今までの博覧会が、集客を目的にしたイベントを行っていましたが、このさるく博は長崎の街そのものを歩いて、見て楽しんで貰おうというものです。「さるく」とは、ぶらぶら歩くという長崎弁です。開催が来年ですが、何の問題もありません!!すでにプレイベント、モデルコースは少しですが発表されております。そして何より、メインの長崎のまちは、400年の前から皆さんのお越しをお待ちしております。ガイドブックに載るような名所ではありませんが、長崎のまちのあちこちに歴史とエピソードを持ったいろんな物が残っております。現在紹介されているコースは、文人墨客も思案した?丸山コース、懐かしの町並み寺町中島川コース、長崎は今日も異国だった居留地コース、元祖長崎鳴滝新大工コースの4コースです。4コースとも今回のさるく博を代表するコースなのですが、残念ながら今回の会場から遠いです。前日から来られる方とかには、是非お勧めします。お時間の無い方のために急遽会場近くのコースを作りました。題して平和コース。会場のポンペ会館は、原爆投下中心地まで歩いて5分くらいの距離にあって、会場の周りには原爆に関連する物が多数有ります。今回紹介するコースが、来年のこの地区の原爆、平和に関するコースになると思います。たとえば歯学部近くの本足の鳥居、石段の上にあるために大半の方は、バスの窓から眺められます。しかし、歩いて登っていけば壊れた半分の鳥居はどうなったのか、また、この鳥居は山王神社の二の鳥居で、一の鳥居はどうなったのか?ほとんどトレビアの泉の様な物ですが、さらに長崎を理解して頂けるとと思います。一応コースの始まりは、松山電停にしています、コースの終わりはポンペ会館です。途中資料館がありますので、多少お時間が掛かりますが、お時間が許す範囲でさるいてください。



①原爆の爆風で倒壊した浦上天主堂の鐘楼のドーム部分である。鐘楼の前に被爆当時の写真入りの説明プレートがあるので、当時と微妙に配置が変わっているのが確認できる。



②爆風により曲がった長崎医科大学の門柱。会場出てすぐ左です。



③山王神社の大楠の鳥居。原爆で枝の殆どを失うほどダメージを受けたが、みごとに再生しました。境内前は、旧浦上街道。

全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会
第16回総会・研修会プログラム

開催日：平成17年7月2日（土）・3日（日）

主催校：長崎大学

会場：長崎大学医学部 <http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/>

ボンペ会館 <http://www2.ocn.ne.jp/~oine/pompe/>

〒852-8523 長崎県長崎市坂本1丁目12番4号 Tel. 095-845-8274

(学部内地図 <http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/renew/sougou/map1.html>)

宿泊：長崎ルークプラザホテル

〒852-8007 長崎市江の浦町17-15 TEL 095-861-0055

参加費：10,000円

年会費：10,000円

研修会プログラム

7月2日（土）

12:30 受付

13:00 来賓挨拶 長崎大学副学長 中村 卓 教授

13:05 平成16年度総会

13:55 休憩

14:05 教育講演【1】 座長 北森 秀希（長大）

「ロボットの視覚認知能力は人を越えられるか？」

長崎大学工学部電気電子工学科 助教授

情報メディア基盤センター情報メディア部門長

黒川不二雄 先生

15:20 休憩

15:30 フリー討論【1】 座長 隅田 博臣（広大）

「コーンビームCT」について

フリー討論教育講演 「コーンビームCTについて」（仮題）

日立製作所中央研究所

馬場 理香氏

16:30 休憩

16:35 フリー討論会員発表及び討論会

「3DX」モリタ

丸橋 一夫（日大）

「CB MercurRay」日立メディコ

舟橋 逸雄（昭和大）

17：40 写真撮影・場所移動（長崎ルークプラザホテル）

18：30 情報交換会

}

21：00



7月3日（日）

9：00 教育講演【2】

座長 角田 明（阪大）

「歯科放射線学の温故知新と道標」

NPO 法人日本歯科放射線学会理事長、九州大学名誉教授

医療法人隆徳会、宮崎鶴田記念クリニック、口腔・頭頸部画像診断センター長

神田 重信 先生

10：10 休憩

10：20 フリー討論【2】 いままたなぜ「接遇」か？

座長 松尾 綾江（愛知学院）

フリー討論教育講演「小児歯科医の立場からみた患者さんの心理」

長崎大学医学部・歯学部附属病院子供の歯治療室 講師

久保田一見 先生

10：55 フリー討論会員発表及び討論会

「放射線科における患者とのトラブルとその対処」

北海道医療大学

輪嶋 隆博

日本大学松戸

松崎 伸一

九州大学

吉田 豊

12：00 次回開催校挨拶

岡山大学 竹内 知行

12：05 閉会の辞

[教育講演 I 要旨]

「ロボットの視覚認知能力は人を越えられるか？」

長崎大学工学部電気電子工学科 助教授
情報メディア基盤センター情報メディア部門長 黒川不二雄

概要：

最近、高い能力を持ったロボットは漫画や映画の世界のものだけではなく、その実現が具体性を帯びてきています。そのような場合に、ロボットの目としてのデジタル画像処理技術は非常に重要な要素となります。ここでは、長崎で培った魚種認識や火災検知技術の例を通して、デジタル画像処理技術を平易に解説し、ロボットと人の視覚認知能力の比較を試みます。

まず、基本的なデジタル画像処理の手法とそのシステム構成について解説し、画像処理の技法自体は数学的な手続に基づいていることを説明します。次に、それらの知識を元に、人が採れた魚をどのように認識するかということをもとに、画像処理のアルゴリズムと人の認識手順との類似点と相違点に関して考えてみます。さらに、車や煙のような動画像を対象にした場合はどのようなことになるのかということについて、プラントでの具体的な監視業務を例に解説します。

略 歴

1952年山口県生まれ。1976年福岡工業大学工学部電子工学科卒。1994年より長崎大学工学部助教授。2004年より情報メディア基盤センター情報メディア部門長。工学博士。

学会活動：電子情報通信学会英文誌編集委員、同会研究専門委員会委員、学振173委員会委員、長崎県客員研究員。IEEE（米国電気電子学会、アイ・トリプル・イーと読む）の Senior Member。

研究分野：電子回路、画像処理、音声処理、パワーエレクトロニクス、ロボティクス等の研究に従事。

[教育講演II要旨]

歯科放射線学の温故知新と展開

医療法人隆徳会 宮崎鶴田記念クリニック
口腔・頭頸部画像診断センター長 神田 重信

抄録：

1895年X線の発見以来、X線診断法により歯・顎骨はどこまで見えるようになったのか。現時点でのX線診断法による診断限界と、インプラント術前検査・治療計画を例として、X線診断技術の応用を示したい。

次に、口腔癌をはじめとして、軟組織の病変はどこまでわかるようになったのか。高度に発達したCT、MR、USなどを用いて、口腔腫瘍や転移リンパ節を対象として、これらの診断法や診断精度を示したい。さらに、核医学診断法のなかで、最近のPET診断法の威力を悪性腫瘍や転移リンパ節を対象にして示す。

最後に、今後の歯科画像診断の展開はどうか。X線写真からはじまり、CT、MR、US、PETなどの画像診断法を駆使することにより、口腔病変とくに口腔腫瘍の画像診断精度は限界に達している。これをさらに上げるにはどうするか。また、狭義の画像診断だけを追い求めるだけでよいのか。今後の歯科放射線科診療の方策を考えたい。

略歴書

2005年4月19日作成

- [氏名・性別] 神田 重信 (男)
[生年月日・年齢] 1941年3月3日・64才
[所属機関・現職] 医療法人隆徳会 宮崎鶴田記念クリニック
口腔・頭頸部画像診断センター長
九州大学名誉教授
- [学歴] 1965年 東京医科歯科大学歯学部卒業
1967年 札幌医科大学研究生中退 (口腔外科学)
- [職歴] 1968年 東京医科歯科大学歯学部助手採用 (歯科放射線学) 講師・助教授をへる
1977年 九州大学歯学部教授昇任 (歯科放射線学)
2001年 九州大学大学院歯学研究院教授 (口腔顎顔面病態学講座口腔画像情報科学教室) に改まる
2004年 定年退職 (九州大学名誉教授)
2005年 医療法人隆徳会 宮崎鶴田記念クリニック
口腔・頭頸部画像診断センター長就職
- [出向] 1976～1977年 文部省在外研究員としてハンブルグ大学歯学部に出向
1993年 文部省在外研究員としてUSA, Canada などに出向
- [認定医] ◇日本歯科放射線学会認定医 (No. 00028, 1995年)
◇日本歯科放射線学会指導医 (No. 00028, 1995年)
◇日本顎関節学会指導医
- 【非常勤講師など】◆江西医学院 (中国) 名誉教授 (1997年? 現在に至る)
◆日本歯科大学新潟歯学部非常勤講師 (2000年? 現在)
- [学会活動] ◆NPO 法人日本歯科放射線学会理事長
◆日本画像医学会理事
◆日本歯科医学会理事
◆Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology(顧問理事)
- [社会活動] ◆口腔画像診断研究会 (理事長) による画像診断啓蒙活動

[フリー討論 I 要旨]

CBCT の現状と今後の展開

(株)日立製作所 中央研究所
馬場 理香

近年、歯科の領域においてインプラント（人工歯根）手術や歯列矯正など、治療の高度化が進んでいる。これらの治療は高度であると共に危険を伴い、普及に伴って安全性の確保が重要な課題となっている。そのため、治療計画や診断に CT 装置による 3 次元像が用いられるようになってきた。しかし、一般の医療用 CT 装置は仰臥位での計測を目的としているために設置に広い面積を要し、被曝も多い。そこで、歯科用に装置設置面積が小さく低被曝の CT として、座位型のコーンビーム CT（CBCT：Cone-beam Computed Tomography）装置が開発された。

コーンビーム CT とは、X線源と 2 次元検出器を被検体の周りで回転させながら X 線を照射し、得られたデータを再構成演算処理することにより 3 次元像を取得する計測法である。特徴は、検出素子を横方向と同等のピッチで縦方向にも配置した面検出器を用いる点である。これにより、透視や撮影が可能であると同時に、等方的で高い空間分解能の 3 次元像を得ることができる。また、半回転あるいは一回転で再構成処理に必要な投影データを全て取得することができるため、ライン状検出器を用いた一般の医療用 CT 装置のような高速な繰り返し回転が不要となり、回転軸を垂直にとる座位型の構造が可能となる。

現在、歯科用コーンビーム CT 装置には、X線イメージインテンシファイアと CCD テレビカメラを組み合わせた検出器が用いられている。また近年では、フラットパネル検出器（FPD：Flat Panel Detector）を搭載したシステムの開発も進んできている。今回の講演では、計測原理、再構成アルゴリズム、検出器から臨床像まで、様々な角度から“コーンビーム CT”と言うシステムについて紹介させて頂きたいと考えている。また、新しい診断や治療法への活用を目指し、ニーズおよび可能性について討論する機会とさせて頂ければ幸いに思う。

[フリー討論 I 要旨]

歯科用X線CT装置“3DX”の臨床評価

日本大学
丸橋 一夫

この装置は、歯科用CT装置の中でも局所病変の描出を対象としているため撮像範囲を限局しているタイプであり、FOVは高さ約30mm、直径約40mmの円柱状である。

撮影条件は、成人男性の場合で管電圧80kV、管電流4mA、撮像時間9秒（半回転）、総濾過3.1mA1である。その時の皮膚線量は1.19mSvであるのに対し、従来のヘリカルCT装置では160.0mSvであり、1/100以下であった。

対象となる症例として、参考までに2年前までの当科における症例の内訳を載せると、1. 歯科インプラント 24% 2. 顎関節症 17% 3. 埋伏歯 15% 4. 種々の嚢胞 10% 5. その他 34% である。

(利点)

- ・ 鮮鋭度が高い
- ・ 従来のX線CTと比べかなり低被曝である
- ・ 画像処理時間が短い

(欠点)

- ・ チンレストがないため、患者の動きによるボケが生じやすい
- ・ 撮像範囲が狭いため適応症例に限られる

[フリー討論 I 要旨]

「CB MercuRay の使用経験」

昭和大学
舟橋 逸雄

大口径 X 線イメージンシファイア (I.I) を組み合わせることにより、頭頸部全体領域や根先病巣など限局されたものまでの任意断面を一度の撮影で得ることができるコーンビーム X 線 CT 装置 CB MercuRay の使用経験を報告する。

「はじめに」

歯科診療で行われている口外法の多くは、歯科矯正の診断や治療計画の立案に必須の頭部 X 線規格撮影 (セファログラフィー) や顎骨を対象としたパノラマ撮影である。これにインプラント埋入術前検査や埋伏歯および根先病巣などの状態確認を行う事ができれば 1 装置で歯科画像検査の多くをカバーする事ができる。これらの有用性と限界について考察することとした。

「本装置の特徴」

1. 1回転で頭頸部全体の画像データが得られる
2. 3種類の視野モード (FOV) が選べる
3. 透視機能を有している
4. 体軸方向の解像度が高い
5. 顎・顔面検査用に特化開発された装置である
6. DICOM 対応でフィルムに出力できる
7. 被曝線量が従来のファンビーム型 CT よりも低い

「今後の展望」

1. 容易な日常保守管理の確立
2. 検査依頼医側での容易な画像解析ソフトの開発
3. 低年齢児の動きに対する対応
4. 画像処理能力、操作性の向上
5. 従来の CT 装置に義務付けられている CTDI の線量表示

[フリー討論 I 要旨]

「PSR9000N」朝日レントゲン

鶴見大学
三島 章

朝日レントゲン工業社製の歯科用 X 線 CT である PSR 9000N は従来の装置と同様に 4 インチの II. を検出器として用いており、X 線管-II. が被写体の周囲をらせん軌道を描きながら 6.4 回転し歯列弓に沿って顎骨を撮像するパノラマ CT モードと、被写体の周囲を 1 回転または 0.5 回転して直径 41mm、高さ 40mm の円柱状の範囲が撮像可能なデンタル CT モード、そしてブロック CT と呼ばれる任意の範囲の撮像を行うモードとを有する。また、撮影可能な高さが 69mm ではあるがパノラマ断層撮影を行うことも可能である。

管電圧は 60kV ~ 100kV、管電流は 2 mA ~ 12mA での設定が可能である。パノラマ CT モード、ブロック CT モードの撮像時間は 30.0 秒、デンタル CT モードの撮像時間は標準で 13.3 秒であるが、20.0 秒、6.7 秒、3.3 秒、1.7 秒からの選択が可能である。またパノラマ断層撮影は 16.8 秒の撮影時間である。

撮像後数分の画像再構成時間を要し軸位断画像が得られる。この画像は DICOM 形式での保存が可能である。得られた画像は本装置付属のワークステーションで三次元構築や MPR 画像構築が可能であり、得られる画像が DICOM 形式であることから既存の DICOM ビューアーや DICOM ワークステーション上で画像の観察、MPR 画像や三次元画像の構築も可能である。

デンタル CT モードでの被曝線量はパノラマ撮影の約 3 枚分であり、従来の歯科用 X 線 CT の 40% 以下に被曝低減が可能となった。

[フリー討論II要旨]

「小児歯科医から見た患者さんの心理」

長崎大学医学部・歯学部附属病院子供の歯治療室講師
久保田一見

小児歯科医として、今まで多くの障害のあるお子さんをみてきました。
なかには、X線撮影が困難とも思われる患者さんもたくさんいます。
私は、撮影困難と思われる患者さんの場合、必ず付き添うようにしています。
撮影する技師さんにしてみれば、また大変なこどもを送ってきて…
撮影される子どもの保護者から見れば、うちの子はレントゲン写真をとるのが大変なのはわかっているのに、一緒に来てくれないのかしら…等

心の声が聞こえてきそうです。

私にとっても診断に必要なだから撮るのであって、やはりうまくいってほしいのはもちろんです。
私は特に心理学のことを勉強したわけではありません。

でも患者さんに接するときに、患者さんや保護者がどんな気持ちで、何を求めているかアンテナをめぐらせるようにしています。そして要求を声に出さない場合もありますが、その気持ちを察することができるよう努力しています。

また、平成15年9月から半年間、摂食・嚥下リハビリテーションの勉強のため、半年間昭和大学歯学部内地留学させていただきました。小児科の先生はじめ、VFを撮るときには、放射線技師さんに変なお世話になっています。摂食・嚥下指導に際しては、さまざま職種の方々との協力が不可欠です。医療はチームワークだと思っています。各職種の立場を尊重して、各々の役割を気持ちよく果たせることが、よい医療を提供することにつながるのではないのでしょうか？

本日は、普段私が、小児歯科医としてどのように子ども達に接しているかを紹介させていただくことで、皆さんが、患者さんに接する上でのヒントになれば幸いです。

そして医療従事者の一員として、皆様のますますのご活躍を祈念しております。

【略歴】

昭和60年3月東京歯科大学卒業。卒業後、東京歯科大学大学院（小児歯科）に入学するも、61年9月退学。渡米。ニューヨーク大学留学を経て、平成3年10月より、長崎大学歯学部附属病院助手（小児歯科）。6年10月退職。神奈川県立こども医療センターにて研修医として、主に障害児の歯科治療を学び、9年4月長崎大学歯学部附属病院助手（小児歯科）復職。平成10年博士（歯学）の学位取得、11年11月より講師。

【学会活動】

日本小児歯科学会指導医、日本障害者歯科学会認定医

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会会員、アメリカ小児歯科学会正会員他

[フリー討論Ⅱ要旨]

「接遇について」

北海道医療大学
輪嶋 隆博

医療サービス行為の一環のなかで、医療従事者の患者に対する接遇の問題が問われている。医療人として患者への接遇の基本的考え方は他の医療職と根幹・基本部分は共有しても、職種によって対応が趣を異にする部分がある。これは職種による責任性の重さと大いに関連している。医療サービスは画一的ではないという面も併せ持っているわけである。放射線技師の場合の患者への接遇に関しては、従来から指摘されている点がある。これは旧来から引き継がれている悪癖の部分が大きく、これは体質的なものである。これは自努力によって改善されるべきであるが、即効性を期待するのなら、第三者の目から見て指摘してもらうのも方法である。また責任性をいかに接遇のなかに発揮できるかという点については、放射線技師の特長を生かしたものが職場環境の中で埋もれている。ただ自身が気付いていないだけのように思われる。

[フリー討論II要旨]

放射線科のトラブルと対処

日本大学松戸
松崎 伸一

テレビ、新聞などにより医療における事故やトラブルは、人々の身近な出来事として大きな関心を集めています。私たち医療に携わる者においても十分な注意と対策を備え、事故防止に備えなければなりません。大きな医療事故にならずとも診療中には様々な経験をされることが多い事と思われます。

今回の報告では、日本大学松戸歯学部附属日大歯科病院 放射線科における診療業務中に発生してしまったトラブルについて、フリー討論の場をかりてご紹介したいと思います。

当、日本大学松戸歯学部附属日大歯科病院の診療時間は月曜日から金曜日 AM 9:00～PM 5:00、土曜日 AM 9:00～PM 1:00でエックス線検査を受け付けています。CT・MRI検査は予約撮影としていますが当日の撮影依頼も多いのが現状です。現在までの中でトラブルが発生している時間帯は患者さまのエックス線検査が集中する AM10:00～PM 1:00の間にトラブルが発生しているようです。また「受付」、「撮影前の準備」、「撮影中」、「撮影終了後」のように診療中どのような状況で起きてしまったかを理解することは、今後トラブルを防止するにあたり重要な項目であり、その対策法を導くための必要項目とも思われます。

当病院も、この数年でアナログのエックス線フィルムをデジタル化へ移行するにあたり、デジタル機器の取り扱いが不慣れのために起きたトラブルも多く見られ、診療の流れに混乱を生じた事もありました。機器によるトラブルは修練と注意により避けなければなりません。

また、放射線科の業務は短時間の中で多くの患者さまにエックス線検査を行うにあたり、担当医からの十分な説明を受けないままエックス線検査にこられる患者さまや、口内法撮影では依頼された撮影部位が実際の撮影部位と違っていたりする事もあるため、エックス線撮影を行う前に患者さまへ撮影依頼されている部位について確認する事もトラブルを未然に防止する一つの対策として心掛けるようにしております。

また、皆さまからのアドバイスをいただく事で、トラブル防止のための参考にさせていただきたいと思えます。

[フリー討論Ⅱ要旨]

接遇について

九州大学
吉田 豊

当院における最近1年間のデータから患者さんとのトラブルを振り返ってみた。その中で頻度的に高かったものが「患者さんを不必要にお待たせした」と思われる事例であった。この種の事例は他の大学病院でも同様であろうが、原因が放射線技師だけといった単一職種に起因するものではなく、歯科医師、看護師、受付事務職員など様々な職種が総合的に関与していることが多い。他職種間との連携は“患者様を中心とした医療”による病院組織改革で確かに前向きに進み、連携によるミスは減少してきている。しかしながら、実際に患者さんとのトラブルに遭遇した時、対応するのは一人の医療人であり、この医療人の初期対応によって病院のイメージが左右されると言っても過言ではない。トラブルが生じたときに、我々医療従事者が、患者さんに対してどう接するべきか、皆さんのご意見を頂きながら検討したい。

[会員消息]

協議会の皆様お元気ですか

宇津見博基

早いもので、広大歯学部付属病院を退職して5年が過ぎてしまいました。広大歯学部での在籍は平成7年からの5年ほどでしたが、家族的な職場と申しますか、大変楽しく働かせて頂いたと思います。

只、休日に宿舎にじっとしているのは、田舎育ちの私には少々苦痛が伴いましたので市内の美術館に出かけてみたりしました。度々同じ所に行くのもつまらないので、そんな話を職場でしていたら、ドクターが、宿舎の裏山に牛田山があるのでそこに登るなり縦走するなりしてみたらと云われたので、早速、休日に登ってみると頂上からは広島市内が一望でき、とても気持ちの良いものでした。又、広島近辺は1,000メートルくらいの山が沢山あることも分かり、その気になればいつでも山歩きが楽しめました。山の事を色々教えて下さる方も有ったりで、初めは特別高い山に登るつもりは無かったのですが、北アルプスにも何度か登るチャンスに恵まれました。こうしているときもアルプスの峰峯を思い出すとワクワクして、血が騒ぎます。今はとても自信は有りませんが、一日に十数時間歩いたこともあります。高い山、低い山、何れも各々に魅力があります。

広島では色々な人との出会いがあり、今も大変良くして頂いています。又、思わぬ高校の同級生と出会い、何年も気になっていた約束を果たすことが出来ました。と、云うのは、広島に転勤する34年前に、その同級生に千円（今の十倍くらいの価値は有ったでしょう）の借金が有って返そうとしたのですが、連絡が取れなくなってしまい返せなかったのですが、ある時、患者として来院したのです。お互いにすぐ顔が分かり、その夜、長い間の不義理を詫び返済する事が出来ました。勿論、利息は付けませんでした。だって、友達はその事を全然覚えてないと云うものですから……

退職後は少しゆっくりするつもりでしたが、遊んでいるのなら少し手伝ってほしいと云われ、2ヶ所の施設に他の技師と交代で4日ほど楽しく働いています。小さな施設ですので、手当てに見合った業務量の無いのが心苦しい気がします。撮影の無い暇な時には、庭の草取りや植木の剪定なども仕事の内です。家に居れば自堕落な生活が目に見えていますし、昼間でも酒を飲む誘惑に駆られる事も有るので、休日は極力、畑仕事、釣り、山登りをするようにしています。持病に痛風、喘息、腰痛が有るので、時には動けなくなりウンウン唸っていることも少なくない今日この頃です。

私が退職する時、一番良い時期に退職しますねと、同僚に云われましたが、確かに国立大学も独立行政法人になり、厳しい事になったなあと思います。でも、今、振り返ってみると、若い時は今と違って通勤費や住宅手当も無くて生活は楽ではありませんでした、友達に給料を聞かれ、そんな安い給料で良く生活出来るなあと云われて恥ずかしい思いをした事も今となっては懐かしい思い出です。そう云ったその友達の会社も倒産したりで苦勞したようです。

人間、一生を平均してみれば、あまり違いは無いのかも知れません。昨今、未婚の方が増え、そ

の上、少子化が進み日本の将来が危ぶまれています、結婚をして子孫を残す事も、社会に対する大きな貢献だと私は思います。最近では年金、福祉の事が毎日のようにニュースになっていますが、年を取っても元気で働き子供や、他人様に迷惑を掛けない内に来世を目指すよう心掛けなければいけないのでしょうか？

連絡協議会の皆様とは5年と云う短い間のお付き合いでしたが、とても楽しかった事だけが楽しい思い出として残っています。皆様のこれからのご活躍とご発展をお祈り致します。

追伸、広大の隅田氏より近況報告を書けと云われて、ハイと云ったものの、皆様にお知らせ出来るような生活をしていませんので、駄文をお許しください。

山口県宇部市にて 宇津見博基



[寄稿]

全歯放技連の思いで

鹿児島大学
岡田 淳徳

今日ある全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会（全歯放技連）を立ち上げるに際し、西岡、田中両技師長の呼びかけがあったのは1987年であったと聞いている。2年後の1989年歯科放射線学会総会が鹿児島で開催される運びとなりその時に、この間練ってこられた協議会結成に関する賛否や規約を立案する会が鹿児島で並行して開かれ、両氏の考えに大方の関係者が賛成しているアンケート結果をまとめたのを覚えている。これらの資料を基に今で言う全歯放技連参加者の全員が合意し、設立総会が発足する運びとなったわけである。丁度、私は併任辞令を貰い数日経験したばかりで、歯科関係の分野にも既にこのような会は存在しているものとばかり思っていた。

それから12年後の2001年には鹿児島の地において、第12回目の総会・研修会を本県が担当することとなり、城山の麓にあるKKR鹿児島敬天閣で開催した。プログラムに、RIに関する「特別講演」を鹿大の佐藤強志助教授、CTに関する「教育講演」に同大学の森田康彦講師、パノラマCTに関する「技術研修講演」に徳岡デンタルクリニックの徳岡修先生にお願いして進められた。また、会員研究発表（特）・（監）に加え、大学における統合の話しが現実味を帯びた頃「将来、歯科病院は存続しているか？」のフリー討論が行われた。歯科放射線学講座の先生方に受付などをお手伝いいただき無事に終了したことを覚えており、今でも忘れることはできない。なお、この討論は2～3年後の2003～2004年にかけて大方の大学で統合することとなったが、今のところ別棟にある当院では業務上大きくは変化を見せていない。

一方、今でこそ全国的に焼酎が知れ渡り、随分手に入りにくくなっている銘柄が多くなり一部、高騰しているのも見られるが、その頃は飲みたい焼酎を存分に堪能することができた。懇親会では存分に飲んでいただいたようにも思っている。数日後に、お礼のE-mailを多くの方にいただき素直に西郷、末永両氏共に終えた喜びと嬉しかったことを思い出します。

ところで話は変わりますが、医療を取り巻く環境も大きく変化し、医療過誤の問題、経営改善への参加、患者サービスの励行、法人化後の在り方等々業務以外の用件が増えたのも事実であります。

最後になりますが、このように非常に厳しい現況にあります。誰も経験したことのない法人化も二歳を迎えようとしています。抱える問題は十分に議論しあい、部門のあるべき姿を追及して行く必要があります。本会会長さんはじめ役員のご尽力をお願いする次第です。全歯放連の皆様方今後、益々の発展を願いますと共に歯科放射線技術の存在と、その役割を果たしていただきますことを期待しています。

今後の益々の発展を祈念してお別れのことばといたします。

[寄稿]

定年退職にあたり

新潟大学
伊藤 宰

今から38年前の昭和42年7月に新潟県立病院より、設置したばかりの新潟大学附属病院に赴任した弱冠22歳の好青年?であった私も昨年還暦を迎え、今年の3月末日で定年退職の運びとなりました。本連絡協議会との係わりは、設立準備からのメンバーでしたので約16年になりますが、ここ5～6年は日程の都合がつかないため総会・技術研修会に参加できず申し訳ない気持ちで一杯です。幸い今年の第16回定期総会・技術研修会は、日本歯科大学新潟歯学部での開催ですので、皆様との再会を楽しみにしております。

国立大学歯学部附属病院の9病院が医学部附属病院との統合により、新たな組織機構として診療支援(技術)部が設置され、医療技術者が部長職に就任されました。残念ながら歯学部附属病院からの部長就任者はありませんでしたが、副部長には3名の旧歯学部附属病院在籍の医療技術者が就任しました。現在、本会員の数名は大学院に在籍、又は修了されていると聞いております。近い将来、本会員が更なる自己研鑽を積まれて診療支援部長や副病院長に就任されんことを強く望んでいます。

新潟県放射線技師会の会長職と日本放射線技師会の理事職は今年で8年目を迎え、相変わらず多忙を極めていますが、通算39年に亘る病院勤務で疲労した精神と衰退した身体を癒すための時間を得ることが漸くできましたので、爽やかな汗を求めて4月から近くのスポーツクラブに入会し、週3回ほど通って健康づくりに励んでいます。また、新潟市近郊には温泉地が沢山ありますので、温泉に浸かりながら心身を癒していき、体力が回復しだい5年間1度もプレーが出来なかった大好きなゴルフを再開して、第3の人生を楽しく過ごしたいと考えております。

3年前から着物に興味を持ち始め、休日や祭事に着用する回数を増やしております。勿論、技師会関係の式典や理事会の際も羽織・袴着用で何度か出席をしていますが、宴席の時には着物が汚れないよう気を使うため、酔えない事もあります。定年退職の31日には、永年勤続者として表彰式の式典に色紋付着物の正装(5つ紋の羽織と仙台平の袴)で出席し、学長から感謝状と記念品を受賞しました。祝賀会では、学長から良くお似合いとの言葉を頂戴するなど、着物の効果は抜群です。今、着物は見直されておりブームにもなっていますので、皆様も着物に挑戦してみませんか。

[会員原稿]

PACS へのアプローチ

徳島大学
坂野 啓一

つい最近まで徳島大学病院歯科部門での PACS (picture archiving and communication systems) への依存度は殆どなかった。しかし、2004年4月から医科部門で、電子カルテとともにマルチベンダー方式による国立大学病院初のフィルムレス PACS の運用がはじまった。2005年4月より歯科部門でも徳島大学病院放射線部長の西谷 弘教授の協力により、IT はもとよりデジタル化も一挙に始まり、フィルムレス PACS 導入に至った。但し、口内法においては従来通りのアナログを使用している。ここで、既にご存知の方は多いと思われるが、PACS について簡単に紹介させていただく。わが国では1987年に初めて導入され、1999年に診療録の電子媒体の保存が許可されたことにより、画像を電子媒体に保存した段階で、診療報酬請求が可能となった。PACS で評価される面は、CRT / LCD での読影、読影効率の向上、フィルムレス、CAD 研究、電子保存、遠隔診療などがあり、2002年には1468施設に導入されている。しかし、問題点も多く、処理スピードが遅い、運用業務の流れとマッチしない、HIS、RIS との連携の悪さ、MO、CD-R、DVD、などの画像ファイリングのためのハードウェアの精査ができていないなどがある。また、リスクの分散が難しく、システムダウンで画像診断部全体の機能が麻痺してしまう。PACS 運用に最適な撮影条件や処理条件の変更、PACS 運用管理の組織づくりなどの課題もある。そういったことを踏まえて、口腔顎顔面領域のあらゆる撮影・検査による歯・歯周組織、口腔顎顔面および頭頸部領域の画像を HIS、RIS、PACS、モダリティとの連携機能により、撮影法毎に表示領域を自動的に振り分ける、画像診断がスムーズにできる DICOM Viewer の開発も目的として開始した。(下でも述べているため、2回同じ内容を記述しています。)

電子カルテシステムの稼動にあわせて導入されたのが、シーメンス旭メディテック (株) を中心に構築された「統合画像診断管理システム」と呼ばれるフィルムレス PACS である。十数社が参加する大規模なマルチベンダー方式であり RIS や DICOM 画像管理サーバ、レポートシステム「iRad」シリーズ、3D 画像配信システム「AquariusNET」といったサブのシステムで構成されている。放射線部には、日本ソルテック (株) による SAN (Storage Area Network) と SAN 用ファイル共有ソフトウェア「Stor Next File System」を採用した光ファイバーで運用する「高速画像参照システム」を構築した。このシステムの読影端末には、全てナナオ (株) の液晶モニターが採用されている。また、モニターに関してもハイスペックのものが使用されている。このモニターを4面 (向かって左縦2面: Character displays 横2面: image displays) で検査画像を表示して診断がおこなわれる。----- 写真1 他に2面のモニターや6面のものもある。

このような環境で、院内の電子カルテ端末で2D画像を見るためのシステムが、日本アグファ・ゲバルト (株) の Web 画像配信システム「IMPAX Web1000」と日本ストラタステクノロジー

(株)の「ft Server」である。ここで「ft Server」のメリット紹介をする。CPU、メモリ、チップセットなどのコンポーネントがすべて二重化され、それぞれ同期を取って稼動する。また、無停止型のシステム(?)が構築でき、アプリケーションの修正が不要であることがあげられる。

次に歯科部門運用一般撮影系(口外法)でのデータフローは、RISオーダーをCRコンソールに送信し、撮影画像にRISからの情報を付加しDICOM化する。そのデータを検像端末に送信し画像確認後、画像サーバから統括サーバに送信されたデータを「SINET@ Viewer」で読影するというものである。また、CRコンソールから直接ドライイメージャー「DRYPIX 7000」に送信し、プリント出力することも可能である。CT・USに関しても多少データフローは複雑であるが、基本的には一般撮影系とは大差はない。このようにIT、CR化によって業務の簡素化、合理化がはかられ患者のスループットが良くなった。今後の展望として現在よりもPACSによるワークフローの効率を上げ、総合的に情報の共有化やチーム医療での成果を確認できるように努力を重ねたい。

[施設紹介]



長崎大学
北森 秀希

昭和57年4月に長崎大学歯学部附属病院として開院し、平成15年10月に医学部附属病院と統合しました。歯学部附属病院は長崎大学医学部・歯学部附属病院歯科系診療部門となりましたが、患者さんにはまだ「歯学部ですね、はいこちらですよ」と案内しています。開院当初は診療放射線技師1名、受付1名で1年間過ごし、2年目に技師1名、3年目に技師1名と定員ができました。

開院4年目から現在の技師のメンバーで日々業務に携わっています。受付の人とは開院当初から一緒に仕事しています。昨年の6月から医学部病院の患者さんも歯科系診療部門で受付なしで医学部ID番号のまま、X線検査・診断室でCT、MR、US検査が受けられるようになりました。内科、整形外科、形成外科、耳鼻科、放射線科、産婦人科等から各種検査依頼が増えてきています。技師は通常の頭頸部領域のX線検査に加え、CT検査、医科領域の整形・形成外科の関節、脊椎関係のMR検査、産婦人科領域のMR検査と行っています。また昨年からは口腔乾燥症外来を当診療室で開始したため超音波検査、MR検査も増えています。故に事情で1名休んだときはかなりせわしく動き回っています。

【X線検査診断室の設備、機器】

デンタル撮影室1：朝日レントゲン GX60-NS

デンタル撮影室2：朝日レントゲン GX60-NS

パノラマ撮影室：モリタスーパーベラビュー X500M、フィリップススタートオラリックス
朝日レントゲン GX70S

透視撮影室：シーメンスマルチグラフ、シーメンスステレオリックス、
移動型朝日レントゲンウラニア71S

セファロ撮影室：日立メディコ SSR-2B、日立メディコ UH 6 GBIT、シーメンス MOBILETT Plus

スカル撮影室：シーメンス CRT 4、朝日レントゲンコロニス PX-90、朝日レントゲン AZ3000、
携帯用朝日レントゲン KX-60

CT検査室：GE 横河 CT Hispeed Advantage SG

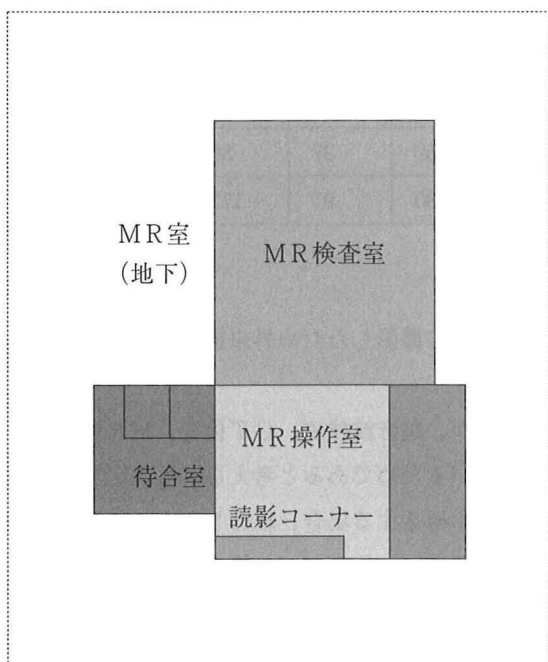
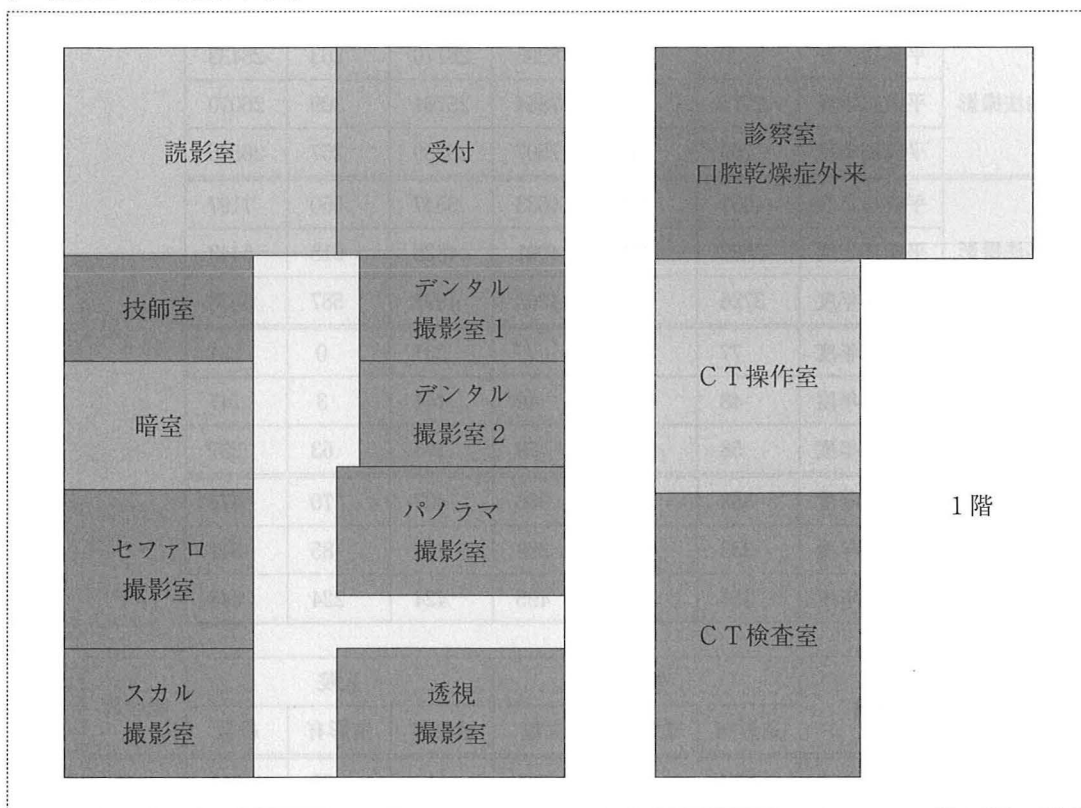
超音波検査室：GE 横河 Logic 9、GE 横河 Logic700

MR検査室：フィリップス Intera 1.5T Master

通常のパノラマ撮影はモリタスーパーベラビュー X500M で撮影し、顎関節パノラマ4分割は主に朝日レントゲン AZ3000で撮影しています。パノラマ撮影室にデンタル撮影装置を1台設置していますがこの装置は主に感染症患者さんように使用しています。口外法はすべてCR処理しています。ただ、最近CR、US、CT等の画像を保管している画像保管装置の患者テキストデータだけでハードディスクが満杯にちかくなり早急な対応を迫られており、今どう対応するべきか検討してい

ます。連絡協議会総会が開催される頃には何らかの結論がでていると思います。

【X線検査・診断室配置図】



【年間検査患者数】

検査項目	年度	患者数			フィルム枚数		
		外来	入院	総数	外来	入院	総数
口内法撮影	平成14年度	8329	66	8395	28170	263	28433
	平成15年度	7775	79	7854	25701	309	26010
	平成16年度	759	48	7607	26289	257	26546
口外法撮影	平成14年度	4054	479	4533	6547	650	7197
	平成15年度	3622	469	4091	4825	618	5443
	平成16年度	3726	537	4263	4991	587	5578
唾液腺造影	平成14年度	77	0	77	231	0	231
	平成15年度	48	1	49	144	3	147
	平成16年度	58	21	79	174	63	237
超音波検査	平成14年度	333	53	386	407	70	477
	平成15年度	333	60	393	456	85	541
	平成16年度	351	144	495	424	224	648

検査項目	年度	外来			入院			総合計
		造影無	造影有	総数	造影無	造影有	総数	
C T検査	平成14年度	597	184	781	116	95	211	992
	平成15年度	664	176	840	95	97	192	1032
	平成16年度	683	237	920	101	119	220	1140
MR検査	平成14年度	64	4	68	3	1	4	72
	平成15年度	461	173	634	52	37	89	723
	平成16年度	608	252	860	80	97	177	1037

* MR装置は平成14年2月から稼働

*平成15年5月までは医学部入院患者さんは歯科で受付して撮影したため外来扱い。

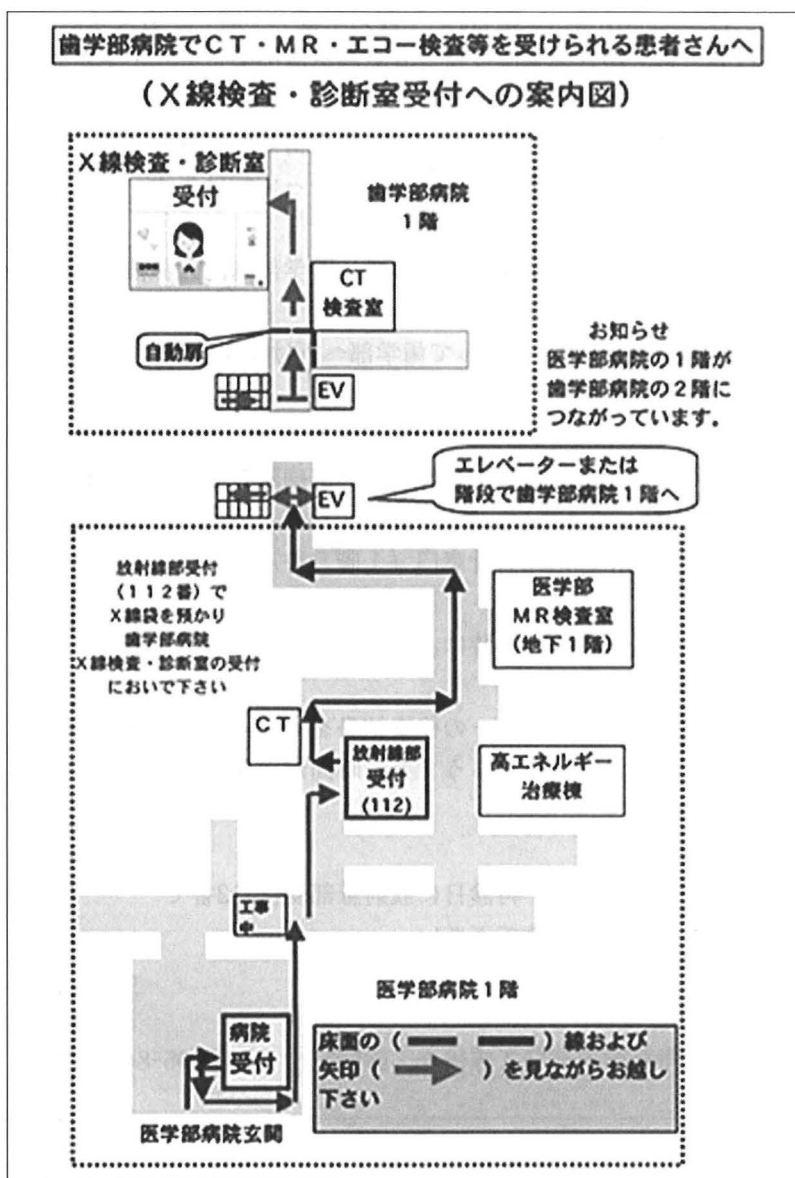
診療実績において一般撮影はそれほど増加していないが、超音波検査、C T検査、MR検査等で増加傾向にある。やはり医学部からの検査依頼が増えているためであると考えられる。医学部と歯学部が統合して一番困ったことは、歯学部の患者さんの手術をする場合、統合したために医学部の手術場のひと部屋で手術するようになり、手術場での出張撮影の依頼がでた場合、医学部病院の手術場までいかなければいけないということである。

原則として前もって撮影する可能性がある場合は、予定日時を前もって連絡して頂くようにして

いる。特殊歯科診療室での全麻下でのデンタル出張撮影と重なった場合は、事情を話し、特殊歯科の方は診療科ドクターの方で撮影して頂くようにしています。

新病棟、新診察棟が完成すれば、もう少し緩和されると思いますが、まだ完成、移動までは年数がかかりますので当面現状のままでやっていくしかありません。

医学部の患者さん紹介が以前に比べかなり増えましたので、関連のある診療科には下図の様な案内図と検査を受けるにあたっての受診手続きおよび検査後の患者さんの行動を示した各科に対応した説明文章を患者さんに主治医から渡して頂くようにしています。



歯学部CT・MR・エコー検査等をうけられる患者様へ

様

あなたの検査日時は、

月 日 (曜日) 午前/午後 時 分です。

1. 検査当日、医学部病院受付で耳鼻科再診の受付をして下さい。
2. 1階放射線部受付112番でフィルム袋を借りて下さい。
病院受付からは廊下の水色ラインに沿って行けます。
3. フィルム袋と検査依頼書を持って、医学部病院X線検査・診断室
受付へ行かれて下さい。
(廊下の青のラインに沿って歯学部へ行けます)
裏面地図を参考にして下さい。
4. 検査が済んだら、書類を預かり医学部病院の放射線部受付
112番へ行ってください。
その後、医学部病院会計窓口(1階5番)へ行かれて下さい。

※検査後耳鼻科診療がある時は、フィルム袋を持って4階外来へ
お越し下さい。

エコー検査の場合はエコーの検査結果をもらってきて下さい。
検査終了後フィルムをもらうまでに時間がかかることをご了承
下さい。

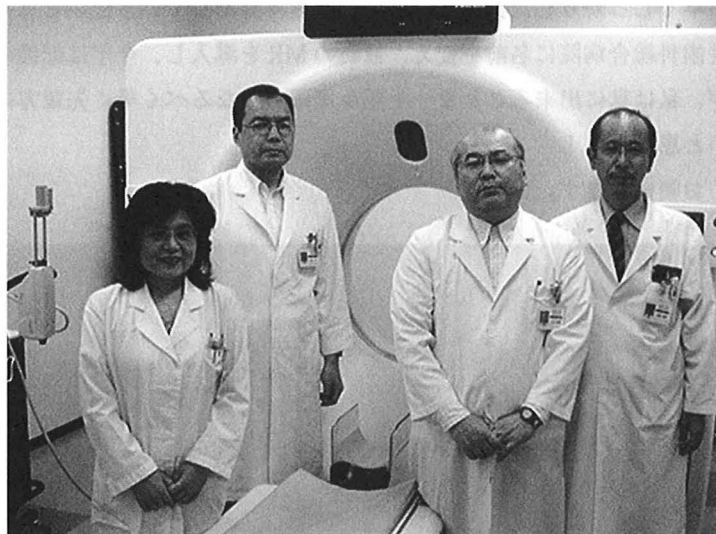
診察が後日の場合は、再診日に放射線部受付112番で
フィルム袋を借りてきて下さい。

【連絡先】

長崎大学歯学部病院X線検査・診断室 電話095-849-7747

【当診療室スタッフ】

室長（教授）、副室長（助教授）、外来医長（講師）以下、助手8名、生物系助手1名の合計12名の教職員と診療放射線技師3名、受付1名、医局秘書1名の17名で運営しています。歯科医師は、外来当番（学生教育兼務1名）、CT&超音波検査当番（2名）、MR検査当番（2名～3名）、口腔乾燥症外来当番（1名～2名）と勤務を割り振っています。技師については1ヶ月交代のCT&MR当番、外来当番の他に、昼休み当番、夕方当番と勤務割り振りをしています。少ない人数で撮影を行っているために患者さんに苦情を頂かないように患者さんの身になった診療を心がけています。外来の医療技術職のメンバーの顔ぶれが変わりませんので、平均年齢が毎年あがるばかりですが、初心忘れず今後とも歯科放射線診療に貢献してまいりたいと思います。



[新人紹介]

初めまして

福岡歯科大学
島津 奈緒

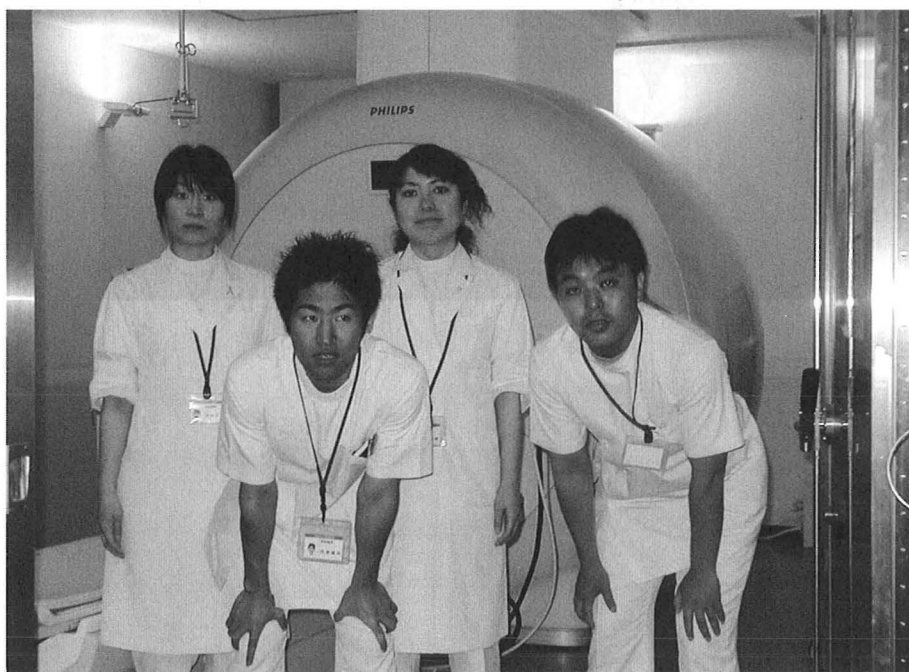
福岡医科歯科総合病院放射線科の新人島津奈緒です。

ハラハラ&ドキドキの合格発表を迎え、診療放射線技師として働きだして、もう1年が過ぎようとしています。学生の頃の1年と、社会人になってからの1年は全然時間の経ち方が違うとは聞いていましたが、まさかこんなにも早く1年が過ぎてしまうものとは思いませんでした。

私が初めて触る機械、もしくは初めて撮影するときは、必ず何かトラブルが発生し、その度に先輩方にご迷惑をかけてしまいました。あと私たちの仕事は体力勝負だということを痛感しました。実際働きだしてみても、病院実習の大切さ、自分の力の無さを実感しました。時には何も出来ない自分に苛立ちさえ感じました。未だに先輩方には迷惑ばかりおかけしてしまって、申し訳ない気持ちでいっぱいです。早くしっかりした技師になれるよう日々努力していきたいと思います！！

福岡歯科大医科歯科総合病院に名前を変え、最新のMRを導入し、今年は転機の1年になることが予想されますが、私は私に出来ることを一生懸命頑張ってるべく早く先輩方に安心してもらえるようになりたいと思います！

どうぞよろしくお願いします。



MRI 室にて（左より木原さん、市原さん、私、坂元さん）

＜全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会規約＞

- (名称) 第1条 本会は、全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会（全国歯放
技連絡協議会）と称する。
- (目的) 第2条 本会は、会員が相互に連絡をもって研鑽し、医育機関病院の診療放射線技師と
しての資質の向上を計り、歯科医療の発展に貢献することを目的とする。
- (事務所) 第3条 本会の事務所は、会長の勤務場所に置く。
- (会員) 第4条 本会は、全国の歯科大学・歯学部附属病院に勤務する各施設の診療放射線技師
で構成する。
- 2 本会对し、特に功績のあった会員、またはそれに準ずる人を総会の決定によ
り、名誉会員とすることができる。名誉会員は会費納入の義務が免除される。
- 3 本会の趣旨に賛同する診療放射線技師で、会長が認めた者を個人会員とするこ
とができる。
- (役員) 第5条 本会は、次の役員を置く。
- | | | | |
|---------|-----|-----------|-----|
| (1) 会 長 | 1 名 | (2) 副 会 長 | 2 名 |
| (3) 総 務 | 1 名 | (4) 会 計 | 1 名 |
| (5) 幹 事 | 若干名 | (6) 会計監査 | 1 名 |
- 2 会長、副会長および会計監査は総会において選出し、総務、会計および幹事は
会長の指名により任命する。
- 3 役員任期は2年とし、再任を妨げない。
- (会議) 第6条 総会は、原則として毎年1回開催するものとする。
- 2 総会は、会長がこれを召集し重要な事項を審議する。
- 3 総会の議長は、出席者の中から選出する。
- 4 総会の議決は、出席者の過半数による。ただし、可否同数の場合には、議長の
決するところによる。
- 5 その他、会長が認める場合には、臨時の会議を開催できる。
- (会計) 第7条 本会の経費は、会費およびその他の収入をもってこれに充てる。
- 2 本会の会計年度は、毎年4月1日より、翌年3月31日迄とする。
- 3 会費は、1施設年額10,000円とする。
- 4 個人会員の会費は、年額4,000円とする。
- (付則) 第8条 本規約の変更は、総会の承認を必要とする。
- 2 本会則は、平成元年10月19日から実施する。
- (平成4年7月11日に一部改正)
- (平成6年7月9日に一部改正)
- (平成8年7月28日に一部改正)
- (平成12年7月1日に一部改正)

編集後記

3月20日午前10時53分に福岡で大地震が発生しました。協議会の皆様方からは、早々にお見舞いを頂き本当にありがとうございました。お陰様で、当放射線科においてもスタッフ、機材ともに大きな被害はありませんでした。

地震の瞬間、私は自宅にて2歳の息子のためにジュースを注いでおり、台所の柵（台所に入れないうちに妻が付けた）により登りジュースを待っていた息子は、人生で初めての（そしておそらく最後の）出来事にびびりあがって『これはなに？たすけて』という目で柵にしがみつきながら私を見ていました。とっさに私は子供を抱きかかえ、窓から庭に脱出しました。揺れが一段落すると2階にいた妻がヨロヨロと下りてきて、庭に避難している私達を見て一言

『裏切り者！！』

とっさの時、本音が出るんですね（笑）、地震の瞬間、私は自分と子供のことしか頭にありませんでした…………。

今年は何かしら災害、事故が多いように感じますが、それに負けないよう編集の仕事も九大共々、頑張っていきますので、至らぬ点多いと思いますが宜しく願います。

坂元 英知

平成17年6月1日 発行

編集 全国歯放技連絡協議会
発行人 全歯放技会長 角田 明
発行所 〒565-0871
大阪府吹田市山田丘1-8
大阪大学歯学部附属病院歯科放射線科
☎ (06) 6879-2363
定 価 1,000円（送料 当方負担）

掲載広告

シーメンス旭メディテック株式会社 ⇒ 表紙裏
株式会社日立メデイコ
エーザイ株式会社
株式会社阪神技術研究所
東芝メデイカルシステムズ株式会社
タイコヘルスケアジャパン株式会社
コダック株式会社
朝日レントゲン工業株式会社
スズキ商事株式会社
富士フイルムメデイカル株式会社
ワイティティ株式会社
株式会社フラット
ジェンデックス・デンタル・システム株式会社
株式会社モリタ
コニカミノルタエムジー株式会社
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンメデイカルシステムズ
GE横河メデイカルシステム株式会社
島津製作所
西日本エムシー株式会社
日本シエーリング株式会社
第一製薬株式会社

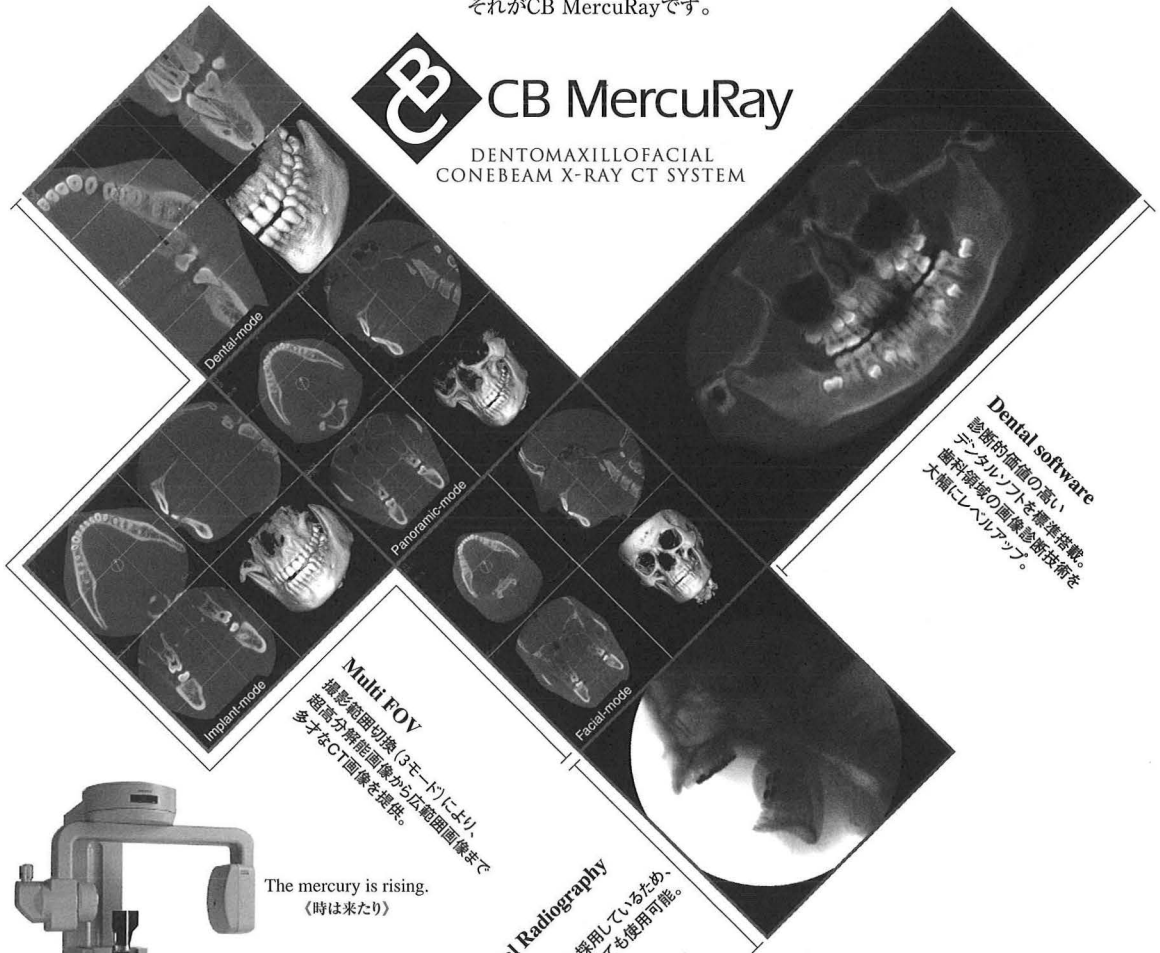
(21社 順不同)

HITACHI

3D画像診断に未来からの提案

本格的な3次元画像診断時代の到来です。
臨床の場が求めてやまないのは、
『歯顎顔面領域』診断・治療へのさらなるInnovation。
“Conebeam CT”のリーディングカンパニーHITACHIから
新たな“STYLE”の提案、
それがCB MercuRayです。

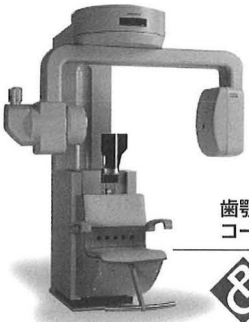
 **CB MercuRay**
DENTOMAXILLOFACIAL
CONEBEAM X-RAY CT SYSTEM



Dental software
診断的価値の高い
デジタルソフトを標準搭載。
歯科領域の画像診断技術を
大幅にレベルアップ。

Multi FOV
撮影範囲切換 (3モード)により、
超高分辨能画像から広範囲画像まで
多才なCT画像を提供。

Digital Radiography
検出器に
超高分辨能LiIを採用しているため、
X線透過装置としても使用可能。



The mercury is rising.
(時は来たり)

歯顎顔面用
コーンビームX線CT装置
 **CB MercuRay**

The “MercuRay” is rising.

株式会社 日立メディコテクノロジー
〒277-0803 千葉県柏市小青田1-7-7 ☎(04)7131-4192(大代表) ☎(04)7140-8273(営業部)

株式会社 日立メディコ
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-14 日立鎌倉橋別館 ☎(03)3292-8111(大代表)  <http://www.hitachi-medical.co.jp>

指定医薬品・処方せん医薬品：
 注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性造影剤 [薬価基準収載]

イオメロン[®] 300
 350
 400
 〈イオメプロール注射液〉 **lomeron**[®]

300・350 (尿路・CT・血管用) / 400 (尿路・血管用)

内容量：20mL, 50mL, 100mL



指定医薬品・処方せん医薬品：
 注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性造影剤 [薬価基準収載]

イオメロン[®] 300シリンジ
 350シリンジ
 〈イオメプロール注射液〉 **lomeron**[®] Syringe

内容量：50mL, 75mL, 100mL

製造販売元
 ブラッコ・エーザイ株式会社
 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6



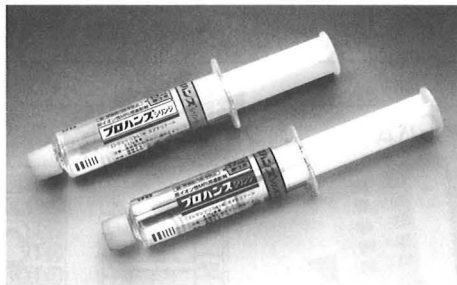
販売元
 エーザイ株式会社
 〒112-8088 東京都文京区小石川 4-6-10
<http://www.eisai.co.jp>

提携先
 ブラッコ インターナショナル

指定医薬品
 処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより
 使用すること

非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]
プロハンス[®] 注
 〈ガドテリドール注射液〉 **ProHance**[®] INJECTION

内容量：5mL, 10mL, 15mL, 20mL



指定医薬品
 処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより
 使用すること

非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]
プロハンス[®] シリンジ
 〈ガドテリドール注射液〉 **ProHance**[®] Syringe

内容量：13mL, 17mL

製造販売元
 ブラッコ・エーザイ株式会社
 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6



販売元
 エーザイ株式会社
 〒112-8088 東京都文京区小石川 4-6-10
<http://www.eisai.co.jp>

提携先
 ブラッコ インターナショナル

ZO 0504-1 2005年4月作成

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン室 ☎ 0120-419-497 9～18時(土、日、祝日 9～17時)

● 効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

フィルム

医療用具許可番号28B20049号 医療用具許可番号40B20070号

D感度インスタントフィルム



- 明室で専用処理液を注入・攪拌
- 30秒以上の処理で安定した高画質
- インスタントのほかに普通現像も可
- 整理番号付き

製品番号	品名	入り数	参考医院価格
DIF-100	標準サイズ	100枚	3,600円
DIF-500	〃	500枚	19,500円
DIK-10	咬合サイズ	10枚	1,300円
DIM-100	前歯サイズ	100枚	4,350円
DIC-100	小児サイズ	100枚	3,600円
DICK-10	小児咬合サイズ	10枚	1,400円

CE 0197

D感度ブラックフィルム



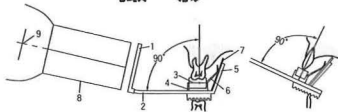
- 普通現像(自現機、暗室)専用
- 3サイズ、各1枚包(S)と2枚包(W)
- 整理番号付き

製品番号	品名	入り数	参考医院価格
BS-100	標準サイズ	100枚	4,700円
BW-100	〃	100枚	5,500円
BCS-100	小児サイズ	100枚	5,200円
BCW-100	〃	100枚	6,000円
BKS-10	咬合サイズ	10枚	2,000円
BKW-10	〃	10枚	2,500円

撮影



CID-3 上顎用3点セット 5,500円
(単品販売もいたします)



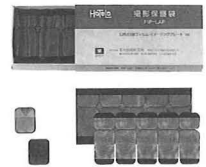
1. 保持器指示リング
2. 基準平面板
3. 咬合ピース(Cピース白)
4. 咬合グリップ
5. フィルム支持板
6. フィルム押さえパネ
7. フィルムまたはイメージングプレート
8. X線装置のツース(コーン)
9. フォーカス

- 口内X線フィルムと同様にイメージングプレートも使用可能
- 咬合ピース(Cピース白)は、一回毎の使い切りで衛生的
- 平行法と二等分法の長所を兼備
- 患者の咬合で最適位置に保持

撮影保護袋 FIP-LAP

X線フィルムとイメージングプレートの唾液付着防止用

250ピース
参考医院価格 3,750円

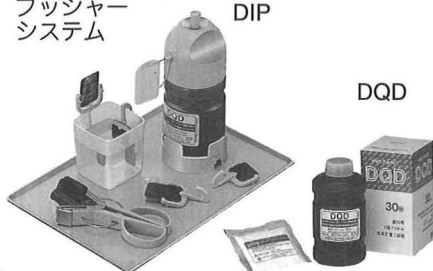


- 袋の片面(黒色)は遮光性があり、受光部を光から保護します。
- 袋は一回毎の使い切りで、唾液による患者から患者への汚染を防御します。
- 軟質シートを使用していますので、口内を傷つけたり、違和感を与えません。
- 標準サイズと小児サイズに使用できます。

現像

医療用具許可番号28B20049号

プッシャーシステム



- 明室で一押し・定量ノズル注入
- 毎回新鮮・一浴処理液を使用
- 取り扱いに便利な各種アクセサリー

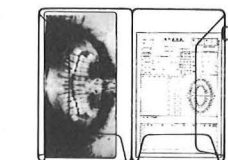
製品番号	名称・品名	参考医院価格
DIP	処理液定量注入器(プッシャー)	2,500円
DQD	専用処理液(DIF 100枚分)	1,300円
APN	フィルムクリップ(ピンチャー)	1,650円
APA	フィルム包装の開封器(ペアラ)	2,500円
DIP-T	プッシャーシステム整理皿(トレイ)	2,000円



Dex-III 135,000円

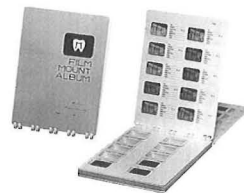
- フィルムワンタッチ装着
- リング移送方式
- 現像・定着・水洗：約2分

カルテファイル



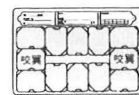
CF-B5 B5版用 2,900円
CF-P パノラマ用 3,000円
CF-A4 A4版用 3,300円

アルバム

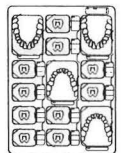


FMA 2,900円

現像・保存 フィルムマウントシート

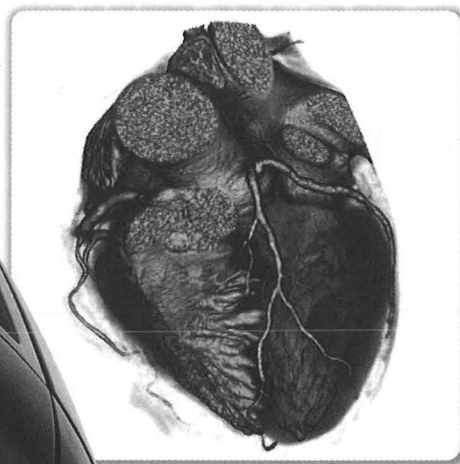


FMS-FD10 2,400円



FMDK 2,700円

TOSHIBA



新たなCVRが生み出す高画質。

TOP of Image

被曝を1/4*に低減 *従来Xe検出器ヘリカルCT当社比較

東芝はS/Nを向上させ、
X線被曝1/4以下を狙います。

S (Signal)
向上のための
ハードウェア改革

- ・新開発検出器、DAS
- ・リニアモータドライブ回転系
- ・陽極接地X線管球 etc.

N (Noise)
低減のための
ハイテク技術投入

- ・ステルス塗装による電磁波対策
- ・振動対策
- ・再構成アルゴリズム
- ・量子フィルタ etc.

0.35 mm Isotropic Resolution

高S/N比でプラーク解析

Aquilion™

64列マルチスライスCTシステム

東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地
お問い合わせ先 03-3818-2170 (東京本社)

<http://www.toshiba-medical.co.jp>

医療用具承認番号 21000BZZ00377000 全身X線CT装置 TSX-101A

「オプチレイ[®]」は、
タイコ ヘルスケア ジャパンの造影剤です。

Optiray[®]



世界52カ国で販売しております。

非イオン性造影剤〈イオベルソール注射液〉

指定医薬品 薬価基準収載

オプチレイ 160・240・320・350

指定医薬品 薬価基準収載

オプチレイ 240・320シリンジ

Mallinckrodt, Your best partner for Diagnostic Imaging.

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については最新の添付文書をご参照ください。

タイコ ヘルスケア ジャパン株式会社

マリンクロット イメージング事業部

〈資料請求先〉〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町3-31

tyco / Healthcare

MALLINCKRODT

0503 B5

New

KODAK InSight Dental Film

コダック インサイト デンタルフィルム

世界最高感度F感度と優れた粒状性を両立した、高性能のデンタル専用フィルムです。



世 界最高F感度を実現

エクタスピードプラスフィルムと比較して最大20%増の高感度。

口内法撮影用フィルムシリーズ最高感度で、患者さんのX線による被曝線量をより軽減できます。

鮮 明な画像を提供

最新の乳剤技術により、感度とコントラストを確保しながらも、優れた粒状性による鮮明な画像が得られます。



A BETTER VIEW OF LIFE.

コダック株式会社
ヘルス イメージング事業部

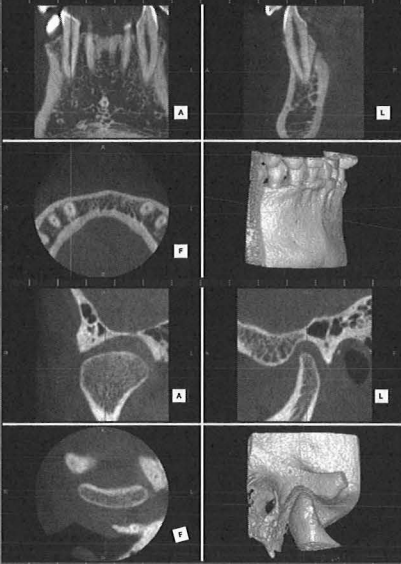
本社 〒104-0033 東京都中央区新川2-27-1
東京住友ツインビル東館
☎ 03-5540-2228

未知なる領域との出会い

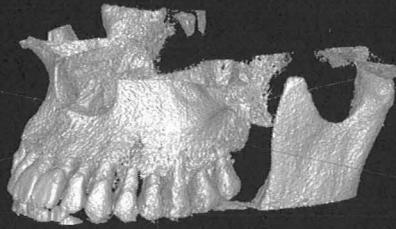
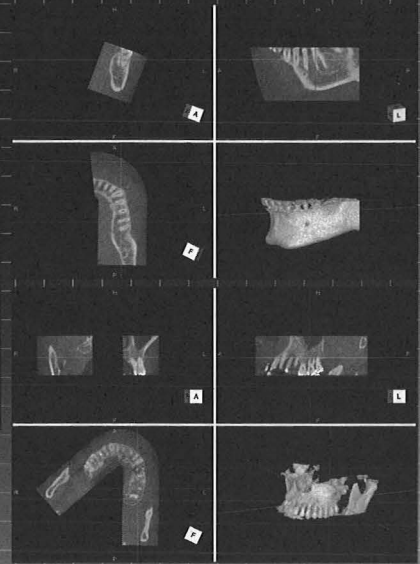
3D Panoramic X-ray CT Scanner
PSR9000N

～見えない領域を、より鮮明に、よりの確に撮影。すべては、優しさのために～

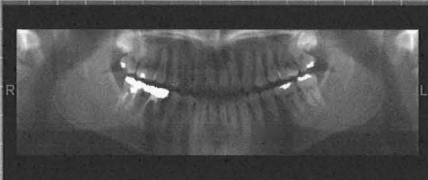
Dental CT



Block CT

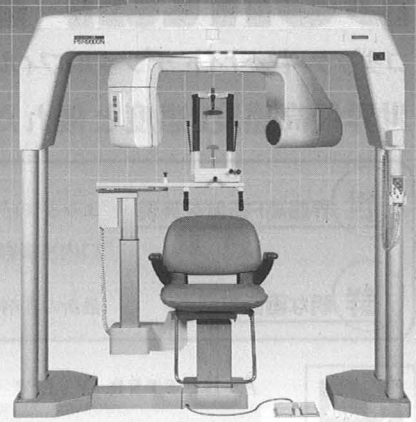


Panoramic CT



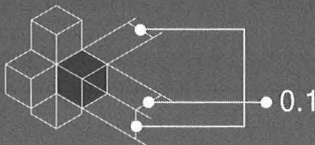
Digital Panorama

新発想で3次元を掴む
究極の3DパノラマCT装置



● 驚異のボクセルサイズ0.1mmを実現

独自のアルゴリズムにより実現した、
超高鮮明(ボクセルサイズ0.1mm)な
高画質像を提供



Asahi 私たちの「優しさ」は、進化のために Gentility, it is for evolution.

※装置の仕様および外觀等は予告無く変更することがあります。

朝日レントゲン工業株式会社 URL: <http://www.asahi-xray.co.jp> E-mail: sales@asahi-xray.co.jp

本社営業部: 〒601-8203 京都市南区久世築山町3 7 6 番地の3
東京営業所: 〒105-0014 東京都港区芝1丁目13番16号 芝橋ビル3F
名古屋営業所: 〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-15 エツワビル 7F
九州営業所: 〒812-0042 福岡市博多区豊2丁目2番28号 ティワンビル
広島ショールーム: 〒732-0805 広島市南区東荒神口3-35
※本社・東京・名古屋営業所に、ショールームを併設しております。

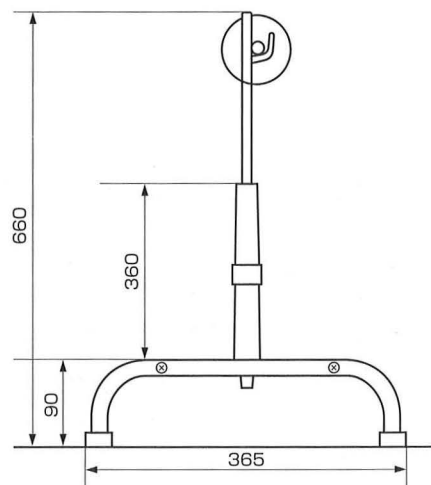
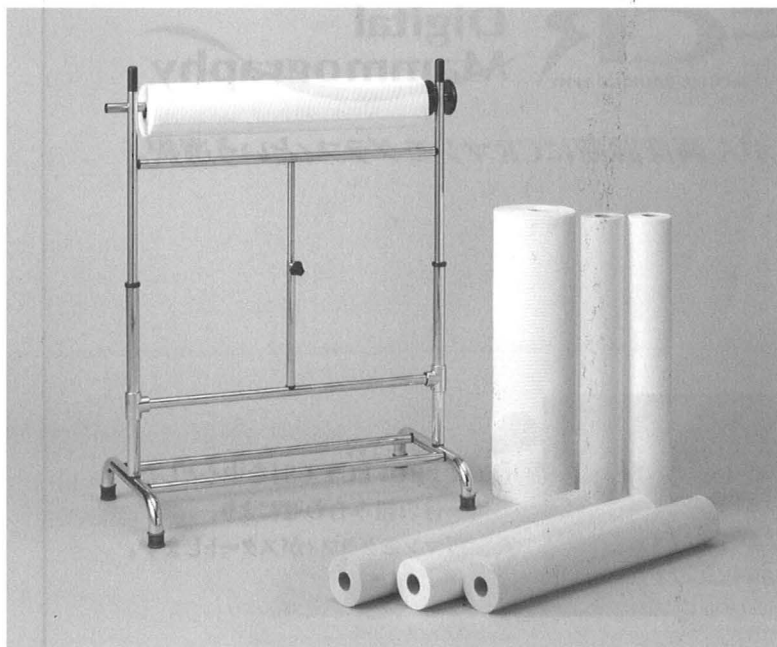
TEL:075-921-4330 FAX:075-921-6675
TEL:03-3455-6790 FAX:03-3454-3049
TEL:052-205-6765 FAX:052-205-6805
TEL:092-451-7278 FAX:092-451-7283
TEL:082-263-8600 FAX:082-263-3900



ISO 13485 医療機器品質マネジメントシステム取得
ISO 9001 品質マネジメントシステム取得
ISO 14001 環境マネジメントシステム取得

CT・MRI・撮影ベット用

Skyロールシート Skyロールシート用スタンド



スタンド材質：ステンレス24 磁気性なし

〔側面図〕

- 安全対応の院内感染防止用シートです。
- ディスプレイタイプですので清潔です。
- 使用後は可燃物として処理できます。
- 専用スタンドは上下自由に調整できます。
- シートはエンボスタイプ、コーティングタイプと二種類あります。
- 病室のベットにも使用することができます。

エンボスタイプ：幅580mm、長さ 18m、400mm間隔でミシン目入
コーティングタイプ：幅580mm、長さ40m、400mm間隔でミシン目入
コーティングタイプ：幅1000mm、長さ40m、ミシン目なし
※包装単位 各6本入

発売元

SKY スズキ商事株式会社

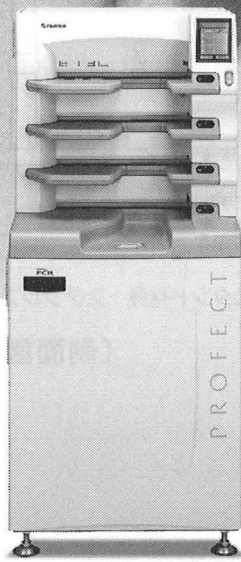
〒135-0042 東京都江東区木場3丁目8番6号
TEL 03 (3643) 4571 FAX 03 (3641) 5114

FUJIFILM
I&I - Imaging & Information

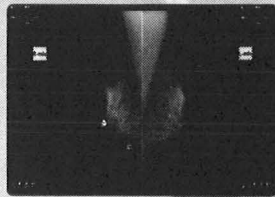
FCR Digital Mammography

FUJI COMPUTED RADIOGRAPHY

乳がん画像診断にCRマンモグラフィという選択。



画像読取装置 FCR PROTECT CS
医療用具製造承認番号 21500BZZ00166000



プロジェクト
「FCR PROTECT CS」を中心とした
三位一体の組み合わせにより、
高画質マンモグラフィがスタートします。



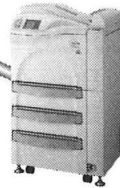
CR Console

Image
Intelligence

高画質読取

高画質画像処理

高精細
Digital Mammography



FUJI MEDICAL DRY LASER IMAGER
DRYPIX
7000

高画質出力

速い・小さい・キレイで簡単

FCR

**PROTECT
CS**



富士フイルムグループは乳がん検診啓発活動を応援しています。



Human Health Care

日頃のご愛顧に感謝申し上げます。

この度私どもは個人情報保護法（平成17年4月1日全面施行）に対応するため「ゼィープラス㈱」と提携しピーマーク取得のお手伝いをしています。

プライバシーマーク

取得支援コンサルティングへのご要望

- ・費用を安く抑えたい
- ・取得準備にあまり人員を割けない
(コンプライアンスプログラムの作成・・・誰かに作って欲しい)
- ・効果的な個人情報保護の仕組みづくりをしたい
- ・取得後も負担のない運用がしたい



上記、全てのご要望にお答えできるのは、

Z-PLUS
ゼィープラス㈱

のコンサルティングだけ!

※ゼィープラス㈱はゼィープラスホールディングス㈱(東証2部上場)のグループ企業です。

私どもは医療用具の
輸入販売会社です。

許可番号
13BY6009



お問い合わせ先

ワイティティ株式会社

東京都港区芝4-5-11 芝・久保ビル5階
TEL03-5443-1700/ FAX03-5443-7383
E-mail: ytt@po.cnet-ta.ne.jp


LEVEL

X-RAY AUTOMATIC PROCESSOR

F D

HORIZONTAL SERIAL ROLLER CARRYING SYSTEM



 株式会社 フラット

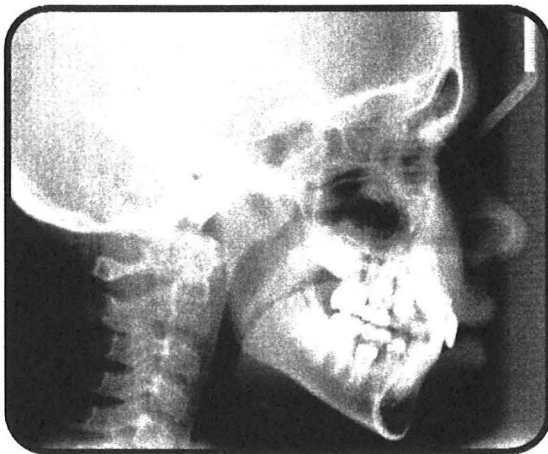
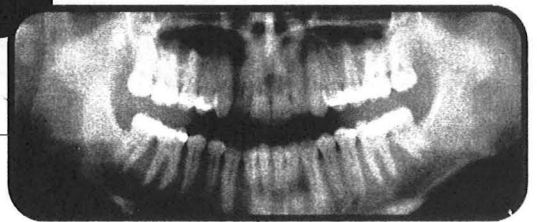
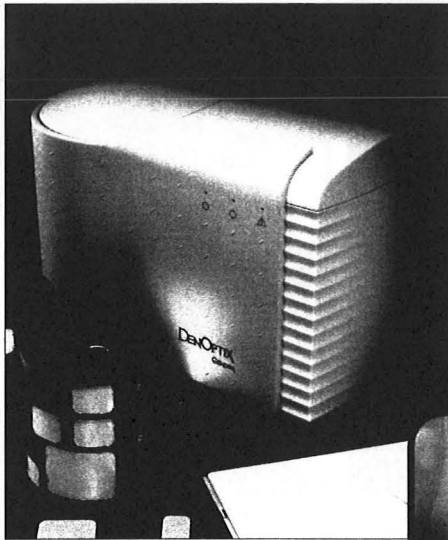
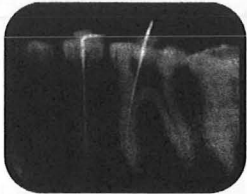
本社	〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町141-4	九州営業所	〒841-0026 鳥栖市本鳥栖町438
	TEL 078 (412) 2345(代) FAX 078 (412) 2028		TEL 0942 (81) 4666(代) FAX 0942 (81) 4668
東京営業所	〒123-0862 東京都足立区血沼2-13-13	札幌出張所	〒003-0827 札幌市白石区菊水元町7条1丁目12-8
	TEL 03 (3857) 9271(代) FAX 03 (3857) 9272		TEL 011 (871) 1002(代) FAX 011 (871) 1002
仙台営業所	〒981-3215 仙台市泉区北中山1-1-23	工場	〒679-4346 兵庫県揖保郡新宮町千本1832
	TEL 022 (376) 8020(代) FAX 022 (376) 8021		TEL 0791 (75) 3146(代) FAX 0791 (75) 4420

デンタル・パノラマ・セファロ統合型デジタルX線画像診断システム

実現するのは

DENOPTIX[®]

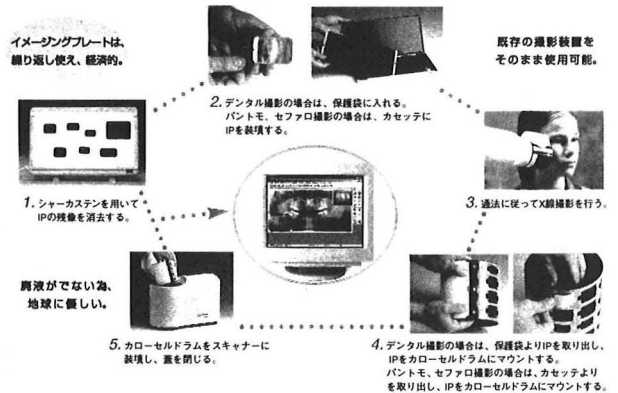
デノプティクス



イメージングプレート方式

- Point 1** 既存の撮影機をそのまま使えます。
- Point 2** フィルムは繰り返し使うことができ、経済的。また、面倒な廃液処理は一切不要。
- Point 3** 通常のフィルムと同様サイズ（デンタル小児・成人用・咬合用、パノラマ<15×30cm>、セファロ<8×10in>等）、薄さ、柔らかさがありますので撮影部位に無理なくフィット。

DenOptix Imaging Cycle



DenOptix デジタルイメージングシステム：医療用具承認番号 21000BZY00391000
DenOptix イメージングプレート：医療用具許可番号 13BY6089号

GENDEX

ジェンデックス・デンタル・システム株式会社

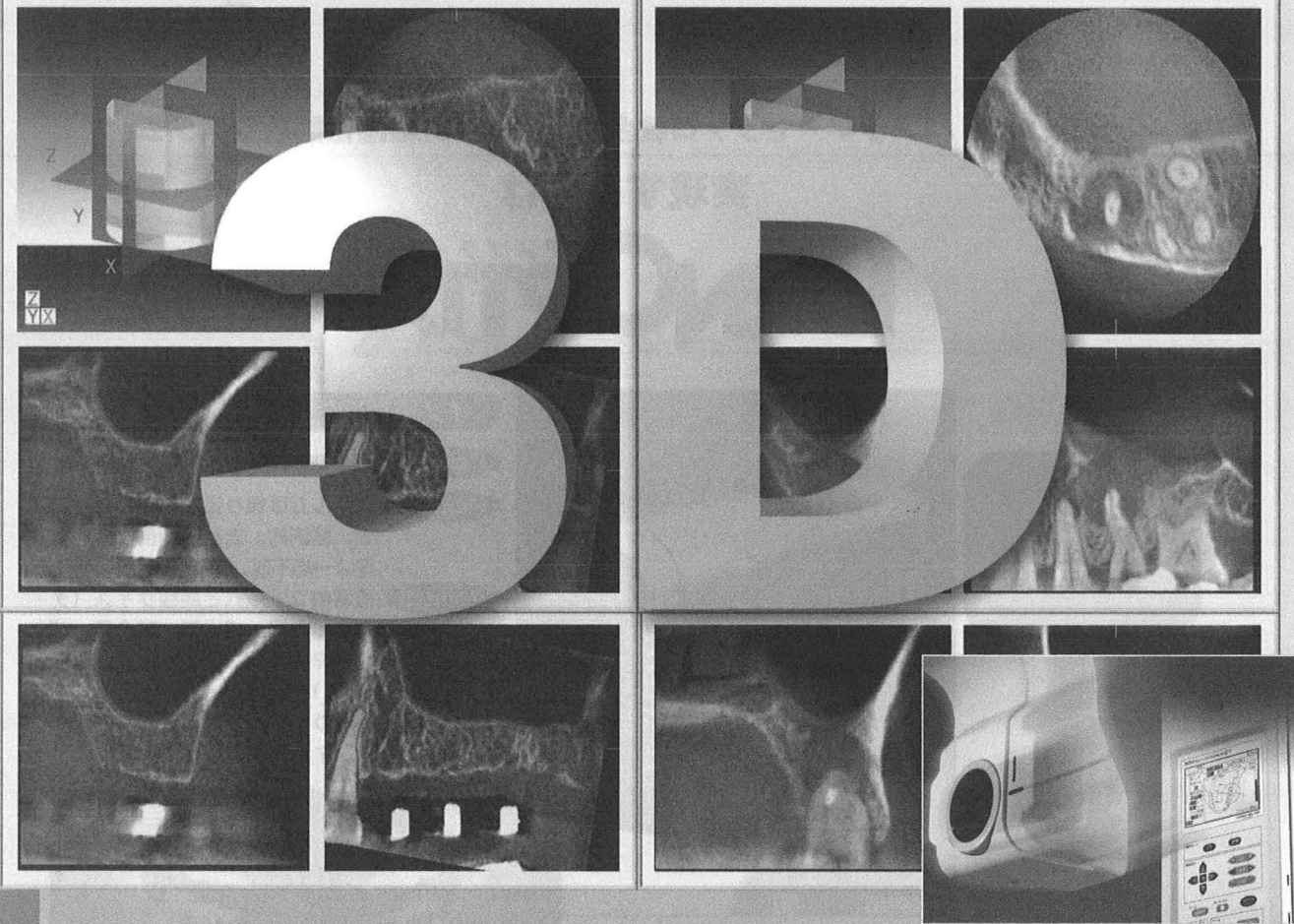
□大阪本社 大阪府吹田市南金田2丁目12番23号
〒564-0044 PHONE 06(6386)8245
FAX06(6386)8248

□東京オフィス 東京都中央区八丁堀2丁目8番5号第二長岡ビル3F
〒104-0032 PHONE 03(3523)1020
FAX03(3523)1040

販売提携

Asahi
朝日レントゲン工業株式会社

京都市南区久世築山町376番地の3 〒610-8203
TEL(075)921-4330(代) FAX(075)921-6675
東京営業所 TEL(03)3455-6790(代)
九州営業所 TEL(092)451-7278(代)
E-MAIL: fvb6041@mb.infoweb.ne.jp
http://village.infoweb.ne.jp/~asahixry/



3DX MULTI-IMAGE MICRO CT

スリーディーエックス マルチイメージ マイクロCT

High-Resolution Images of Region of Interest

顎、歯、口腔領域など頭頸部の硬組織、周辺組織の3次元画像による診断・精査に最適です。1回の撮影で、高精細の3次元画像が得られ、任意の3方向断面の観察ができます。インプラント、根尖病巣、顎関節、埋伏歯などの診断、精査に最適です。

■ 関心領域の高精細3次元CT画像

- イメージングボリューム(φ40mm×30mm)

■ 高分解能

- 解像度: 2line pair/mm (MTF 10%) 以上
- ボクセルサイズ: 0.125×0.125×0.125mm

■ 低照射線量

- 撮影時間18秒、パノラマ撮影時と同等

■ 簡単位置づけ

- トリプルレーザービーム
- スカウト撮影により正確な位置づけが可能

■ 省スペース

- 床面積: 1620×1200mm

■ 統合画像処理ソフト「i-VIEW-3DX」

- 院内ネットワークにて、デジタルパノラマ・口腔内カメラ等の画像も統合管理

標準価格 25,200,000円より

2004年9月21日現在 消費税別途

医療用具承認番号 21200BZZ00757

開発・製造

株式会社モリタ製作所

www.jmorita-mfg.co.jp

京都府京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533

TEL:075-611-2141

発売

株式会社モリタ

www.dental-plaza.com

東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513

TEL:03-3834-6161

大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650

TEL:06-6380-2525

株式会社モリタ東京製作所

www.jmtmc.co.jp Tel: 048-852-1315



KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

デジタルが進化するとプロセッサも進化する。



廃棄物量削減を提唱し、環境に配慮した錠剤薬品使用のTCX-101システムは、選べるフィルムと画質の良さは勿論のこと、母液交換が6ヶ月に一回という長持ち自慢のミニ・プロセッサです。

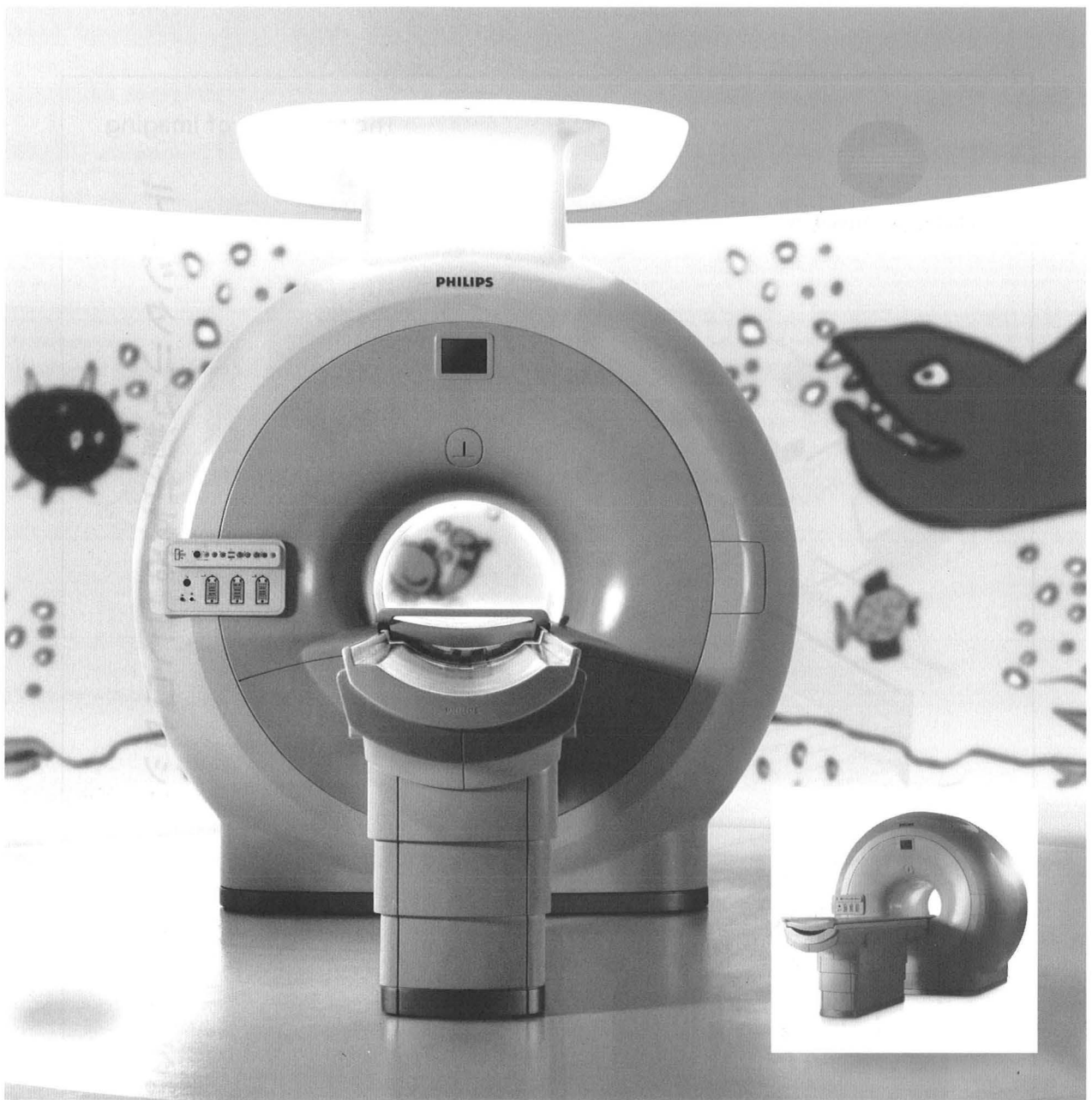
TABLET-CHEMICAL
PROCESSING SYSTEM

TCX-101

TCX-M101/TCX-101AF

コニカミノルタ エムジー株式会社 MI営業本部
163-0512 東京都新宿区西新宿1-26-2 TEL.03(3349)5175 <http://konicaminolta.jp/medical/>

札幌支店 (011)252-4820(代) 東京第2支店 (03)3349-5182(代) 中四国支店 (082)511-4667(代)
東北支店 (022)722-2301(代) 名古屋支店 (052)231-6245(代) 西支店 (087)822-8366(代)
東京第1支店 (03)3349-5182(代) 関西支店 (06)6110-0511(代) 九州支店 (092)415-3453(代)



販売名：インテラアチーバ1.5T
医療用具承認番号：21600BZY00217000

Changing how the world looks at MR
Intera Achieva 1.5T

超電導磁気共鳴診断装置

Achieva、夢を可能にする感動がここに。

Enjoy the experience, with Philips.

**株式会社 フィリップス エレクトロニクス ジャパン
メディカル システムズ**

本社：〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル お客様窓口 0120-556-494
www.medical.philips.com/jp/

PHILIPS
sense and simplicity

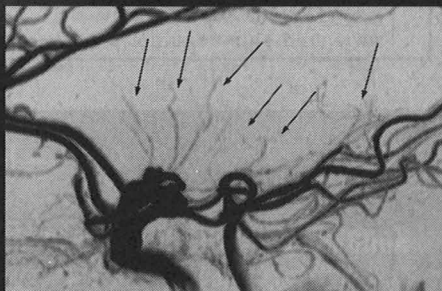
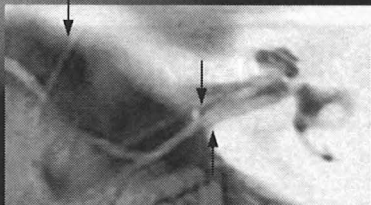
SIGNA 3.0T

Magnetic Resonance System



先進のハードウェアとコンピュータアーキテクチャ、 そして高い評価のユーザーインターフェース。

2003年、臨床MRIの歴史に新たな1ページが加わります。SIGNA3.0T、国内初の3.0Tマグネットを使用した臨床MRIの登場です。1985年の発表以来、MRIのゴールドスタンダードとして全世界で6,500台以上の納入実績を頂く、GE社製、1.5TのSIGNAシステム。SIGNA3.0Tもまた、既に国外では70台以上の臨床実績を頂く（※2003年3月現在、世界最大の実績）もう一つのゴールドスタンダードと言えるでしょう。頭部領域におけるMRイメージングの世界を塗り替えてしまうほどのインパクト。SIGNA3.0T、最先端の臨床に、そして研究にGEがお届けします。



T2-reversedによる脳神経画像
1.5Tでは獲得できなかった情報が、
ルーティンに獲得できます。

血管画像正常ボランティアのMRA画像である。
1.5T 装置では抽出困難な「レンス核線状体動脈」、
「後脈絡叢動脈からの穿通枝」が明瞭に抽出されている。

これが、臨床MRIの新たなる到達点です。

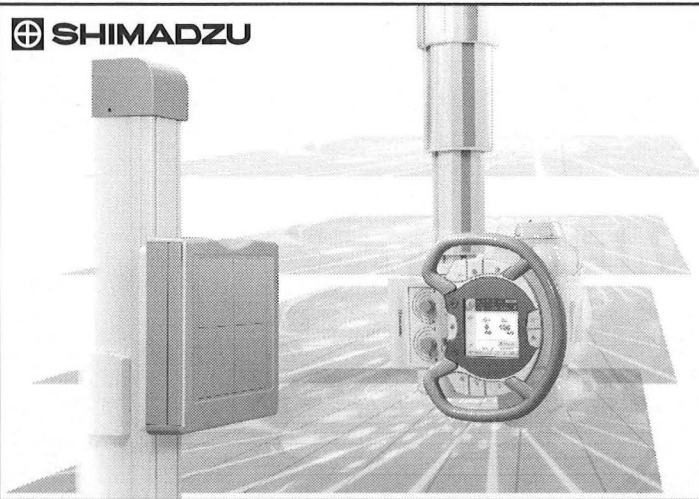
Expanding the frontiers of MRI, once again

GE imagination at work

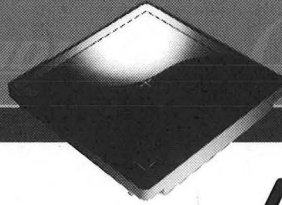


SHIMADZU

キー・テクノロジーの
新たな展開
**Innovations for
Advanced
Imaging**



一般撮影検査において、あらゆる領域をフルカバーできる
17×17インチの直接変換方式FPDを搭載しています。
高い感度特性と超高画質によりX線被ばく量を抑えながら
ターゲットの微細部まで忠実に描出、
撮影後すぐに高精細デジタル画像で観察できます。



大視野・超高画質
直接変換方式FPDにより
高精細リアルタイム診断が進化します

世界初 直接変換方式FPD搭載 X線撮影システム

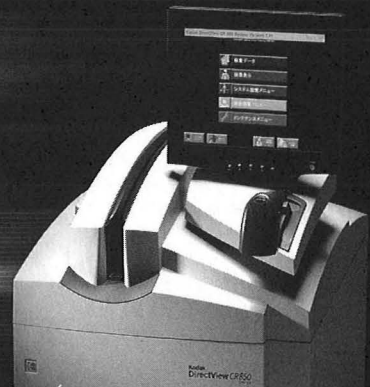
許可番号: 26B20042
販売名: 天井走行式X線撮影装置 CH-200
X線撮影スタンド: BF-120F
許可番号: 26B20042, 26B25001
販売名: 診断用X線高電圧装置 UD150B-40
承認番号: 21600BZ200218000
販売名: デジタルラジオグラフィ装置 DAR-7000

株式会社島津製作所 医用機器事業部
604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1 TEL (075) 823-1271
www.med.shimadzu.co.jp

RADIOTEX
safire

スピードとクオリティの最高峰。

Kodak DryView 8900 Laser Imager
コダック ドライビュー 8900レーザーイメージャ



Kodak DirectView CR850 SYSTEM
コダック ダイレクトビュー CR850 システム

より速く、より鮮明に。進化のかたちがここにある。

HEALTH IMAGING
A BETTER VIEW OF LIFE.

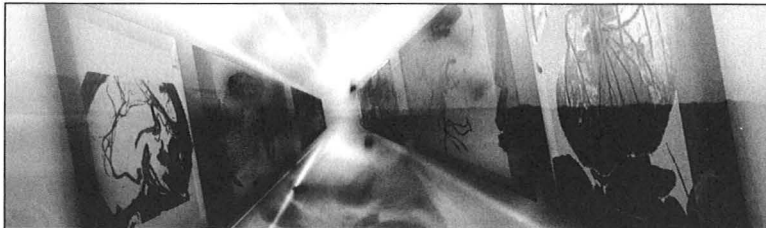


 西日本エムシー株式会社

福岡営業所 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代4-7-82 ☎ (092) 631-0131

コダック株式会社 ヘルスイメージング事業部

東京 〒104-0033 東京都中央区新川2-27-1 東京住友ソインビル東館 ☎ (03) 5540-2260



指定医薬品

薬価基準収載

非イオン性尿路・血管造影剤 (イオパミドール注射液)

イオパミロン[®] 300シリンジ イオパミロン[®] 370シリンジ

300シリンジ	50mL	80mL	100mL
370シリンジ	80mL	100mL	

【警告】

- (1) ショック等の重篤な副作用があらわれることがある。
- (2) 本剤は尿路・血管造影剤であり、特に高濃度製剤(370mgI/mL)については脳・脊髄腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので、脳槽・脊髄造影には使用しないこと。

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- (1) ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者
- (2) 重篤な甲状腺疾患のある患者

【原則禁忌】(次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること)

- (1) 一般状態の極度に悪い患者
- (2) 気管支喘息の患者
- (3) 重篤な心障害のある患者
- (4) 重篤な肝障害のある患者
- (5) 重篤な腎障害(無尿等)のある患者
- (6) 急性膵炎の患者
- (7) マクログロブリン血症の患者
- (8) 多発性骨髄腫の患者
- (9) テタニーのある患者
- (10) 褐色細胞腫の患者及びその疑いのある患者

- 効能・効果、用法・用量、その他の使用上の注意等については、製品添付文書をご参照下さい。
- 警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意の改訂に十分ご留意下さい。

本剤の商標は  イタリアの許諾に基づく

製造販売 日本シエリング株式会社
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号

提携 シエリングAG
(ドイツ連邦共和国)

2004年10月作成





Omnipaque

非イオン性造影剤 (イオヘキソール注射液)

指定医薬品 薬価基準収載

オムニパーク[®] 240シリンジ 300シリンジ 350シリンジ

Omnipaque[®] Syringe

240シリンジ 100mL	300シリンジ 50mL 80mL 100mL 150mL	350シリンジ 100mL
------------------	-------------------------------------	------------------

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意の詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

いのち、ふくらまそう。
第一製薬株式会社

資料請求先
〒103-8234 東京都中央区日本橋三丁目14番10号
ホームページアドレス
<http://www.daiichipharm.co.jp/>

